

ものづくり大学の教育に関するアンケート（201911～202002）報告（概要）

1. 企業向けアンケート

調査期間：2019年11月21日（木）～2020年2月28日（金）

調査対象：本学学生の採用実績のある企業全200社に依頼

回答数：81社（約40%）

（結果の概要）

- ・ 本学の卒業生は、「コンプライアンス・倫理観・モラル」「専門知識・技能」「チームワーク・リーダーシップ」「学習習慣・自己啓発力」「課題発見力・対応能力、企画力、計画力」の順に備わっている／強みがあると多くの企業から評価を頂いた。（P.5-問1-A）
企業にとって必要な能力としては、本学卒業生の強みとする能力以外には、「コミュニケーション能力」「自己理解・主体的行動力」「創造力・論理的思考力」が必要な能力としても、一定の評価を頂いている。（P.6-問1-B）
- ・ 本学の卒業生は、「外国語運用力」「国際感覚・異文化理解力」については、不足しているとの回答が多いが、企業の求める能力として、特に建設業では、あまり必要ではないとの意見もある。（P.5～6-問1-A,B）
- ・ 本学の定めるDPについては、全般的に「身に付けている」「どちらかと言えば身に付いている」が占める割合が多い。しかしながら、「豊かな教養と国際性」については、「どちらかと言えば身に付いていない」との評価が見られた。（P.7～8-問2）
- ・ 卒業生に対する評価として、「求める人材像に合致する」が最も多い回答であり、会社が期待する本学への教育活動についても、概ね現状の教育方針を伸ばして欲しいとの意見が多かった。また、採用時に評価した点についても、本学の強みである「技能がある程度できる」「現場を知っている／いやがらない」が最も多い回答であり、現状の教育内容が企業に一定の評価を得ていることが伺える。（P.9-問3、P.10-問4）
- ・ 学生時代に身に付けておいて欲しい能力については、専門的な知識に関する意見もあるが概ね「コミュニケーション能力」との回答が多かった。（P.11～12-問5）
- ・ 3年以内の離職率については、採用者数248名に対し24名、9.7%となった。（P.12-問7）

2. 卒業生向けアンケート

調査期間：2019年12月末～2020年1月31日（金）

調査対象：本学卒業生3,521人に依頼

有効回答数：151人（4.3%）、最近5年間の卒業生の回答が77%を占めた。

回答者の中で転職した者は23%、最近5年間の卒業生では13%。（P.19-問2(7),(8)）

（結果の概要）

- ・ 卒業後に身に付いたと考える能力については、「現場力」ものづくりを実践することから得られる創意工夫する力（65%）、「耐力」胆力 困難に向き合い乗り越える力（56%）、「協

調力 多様性を受容、尊重して異文化を受け入れ科学技術、社会経済のグローバル化に対応できる力 (52%)」、「コミュニケーション力 価値観の異なる相手とも双方向で真摯に学び合う対話力 (51%)」、「高度なものづくりに対応できる基礎学力と専門的知識 (50%)」の順で高かった。(P. 21～31-問 3A)

これらの上位に挙げられた能力のために、大学の学びの中で何が役に立ったかについては、「インターンシップ」「実習系科目」「卒業研究」が多く挙げられた。(P. 21～31-問 3B)

- 一方で必要/重要と考える能力としては、第1位が「コミュニケーション力」、以下、「高度なものづくりに対応できる基礎学力と専門的知識」「現場力」「課題設定・解決力、マネジメント力」「耐力、胆力」の4つが同等程度に挙げられた。(P. 32～34-問 4)
 - 学生時代に取り組むべきだったことという問いには、「資格獲得」が5割近くを占め、卒業(修了)生のために大学に希望することで「資格取得のための学習機会の提供」が6割近くを占めていることと呼応している。(P. 35-問 5、P. 37-問 6)
- 資格取得では、既に取得した資格では「二級建築士」「技能検定」「乙種危険物取扱者」が挙げられた。一方で、資格取得学修として求められているものでは、「建築施工管理技士」「建築士」「技術士」が挙げられ、より上位の資格へのチャレンジが考えられていると推察できる。(P. 20～21-問 2(10), (11)、P. 38-問 8)
- 大学の教育で不足と考えられている点は、色々な設問で応えられた中で、「英語力」「語学力」「国外で働くコミュニケーション力」「グローバル力」などが頻度高く挙げられた。(P. 31-問 3、P. 34-問 4、P. 36～37-問 5 の自由記述)

3. 2つのアンケートの比較

- 本学の教育については、企業、卒業生とも一定の評価が得られている。両アンケートに共通して挙げられているものでは、
「専門知識・技能」＝「高度なものづくりに対応できる基礎学力と専門的知識」、
「課題発見力・対応能力、企画力、計画力」「チームワーク・リーダーシップ」「自己理解・主体的行動力」＝「現場力」「耐力、胆力」「協調力」
「コミュニケーション能力」＝「コミュニケーション力」
等が捉えられ、本学の教育の強みとして、活かしていくべきと考える。なお、卒業生からはこのような力をつけるのに役立った科目として、特に「インターンシップ」「実習」「卒研」などの評価が高い。
- 企業からは、「外国語運用力」「国際感覚・異文化理解力」が不足で、「豊かな教養と国際性一」はあまり身に付いていないとされた。これと呼応する様に、卒業生からも語学力やグローバル力が不足との意見が出されており、この点については、今後のカリキュラム改革等でも検討していくべきと考えられる。
- 社会人として重要な能力としては、企業からも、卒業生からも、コミュニケーション能力を期待する声が最も大きかったため、この点も重視する必要がある。

ものづくり大学の教育に関するアンケート（企業向け）最終報告

2020.3.2
学生課就職IS係

【概要】

18歳人口の減少を踏まえて大学のあり方が問われる時代を迎える中で、大学として教育の質を保証し社会の変化に対応できる人材を育成するため、本学学生の採用実績がある企業に対して広く意見を募り、その成長の場となる教育環境を整備し社会に求められる人材を送り出していくために実施するものである。

【調査概要】

調査対象：IS成果発表会参加企業のうち、本学卒業（修了）生の採用実績がある企業
企業研究交流会参加企業のうち、本学卒業（修了）生の採用実績がある企業
3名以上 本学卒業（修了）生の採用実績がある企業

調査方法：アンケート用紙配布による記述方式

調査期間：2019年11月21日（木）～2020年2月28日（金）

【回答者の属性】

（2020.3.2現在）

	対象企業数	回答企業数	回答割合
製造系企業	92	28	30.4%
建設系企業	111	53	47.7%
合計	203	81	39.9%

※12/18 製造22、建設32社追加配布 ※1月中旬～ 製造53、建設51社追加配布

【質問項目】

I.基本項目

企業概要について

II.調査項目

問1.本学卒業（修了）生に備わっている能力及び資質について

問2.ディプロマポリシーに掲げる知識や資質について

問3.技能重視の技術者育成教育の評価について

問4.卒業（修了）生の採用に至った評価基準について

問5.学生時代に身に付けておいて欲しい能力や資質・経験について

問6.今後の教育活動について、希望されること又は期待することについて

問7.卒業（修了）生の3年以内離職状況について

2019年度教育に関するアンケート（企業向け）集計結果

I.基本項目

（所在地）

所在地	回答数	比率
愛知県	2	2.5%
埼玉県	29	35.8%
東京都	29	35.8%
千葉県	1	1.2%
群馬県	5	6.2%
茨城県	1	1.2%
神奈川県	2	2.5%
新潟県	1	1.2%
長野県	1	1.2%
静岡県	3	3.7%
岐阜県	2	2.5%
大阪府	4	4.9%
熊本県	1	1.2%
合計	81	98.8%

（従業員数）

従業員数	回答数	比率
301名以上	40	49.4%
300名以下	21	25.9%
100名以下	14	17.3%
20名以下	6	7.4%
合計	81	100.0%

（業種区分）

業種	回答率	比率
製造業	26	32.1%
板金加工	2	2.5%
総合建設業	25	30.9%
内装業・左官工事	2	2.5%
舞台美術・ディスプレイ	4	4.9%
木材・木製品製造	1	1.2%
土木工事業	2	2.5%
測量設計業	2	2.5%
測量・土木設計	1	1.2%
建設業	14	17.3%
不動産・その他サービス	2	2.5%
合計	81	100.0%

（卒業生在籍者数）

卒業生在籍者数	回答率	比率
1人	23	29.1%
2～5人未満	41	51.9%
5～10人未満	14	17.7%
10～20人未満	1	1.3%
20人以上	0	0.0%
いない	0	0.0%
合計	79	100.0%

※現在在籍者0名の企業2社あり

（アンケート回答企業抜粋）

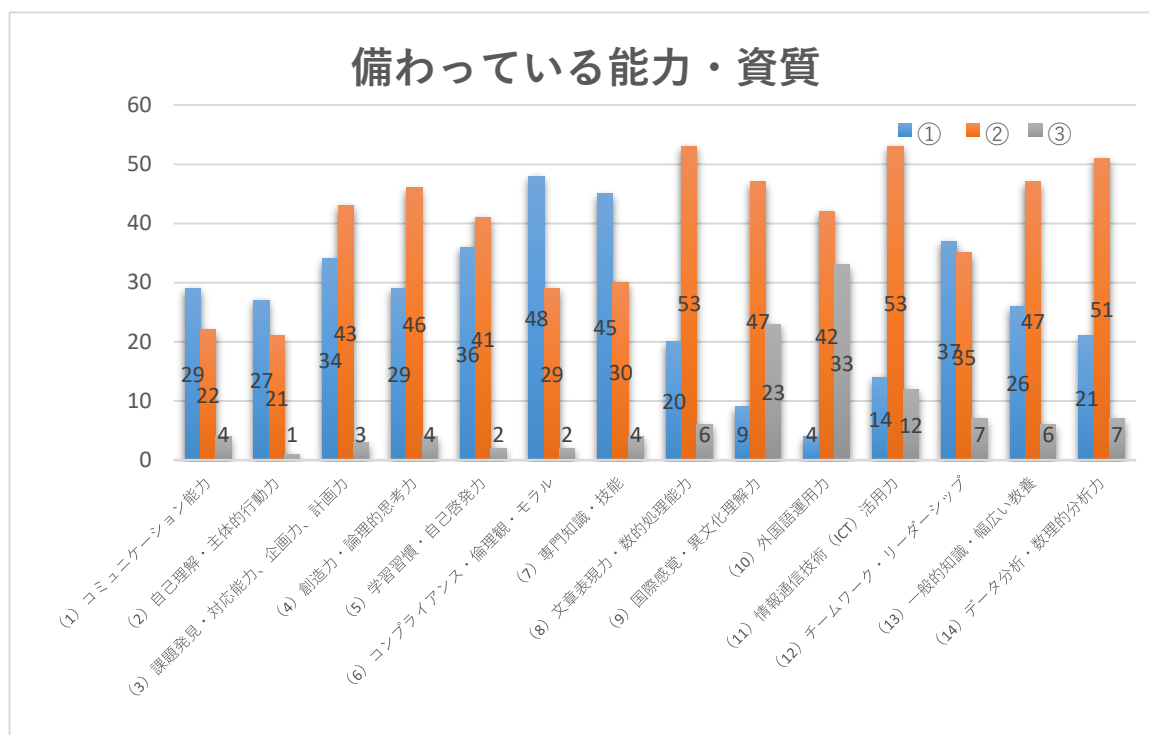
企業名（製造系：11社） 他17社	企業名（建設系：11社） 他42社
旭メタルズ株式会社	田中建設株式会社東京支店
株式会社昭和技研工業	木村木材工業株式会社
株式会社愛工舎製作所	株式会社高橋土建
株式会社東京チタニウム	岩崎工業株式会社
株式会社東京軽合金製作所	村本建設株式会社
株式会社木村鋳造所	塩川設計測量株式会社
株式会社ヒガシ	株式会社共和テクノ
株式会社和幸製作所	小川工業株式会社
株式会社アイチコーポレーション	初雁興業株式会社
株式会社ミツバ	伊田テクノス株式会社
三恵技研工業株式会社	清水建設株式会社東京木工所

Ⅱ.調査項目

問1. 次の表に掲げる能力・資質は、中央教育審議会答申にある「学士力」や経済産業省が提唱する「社会人基礎力」等に基づき、社会人として必要と思われる能力や資質を類型化したものです。

A ものつくり大学の卒業生・修了生を全体的に見て、社会人として必要と思われる下記能力や資質は、現在備わっているでしょうか。該当する番号を表のA欄にご記入ください。

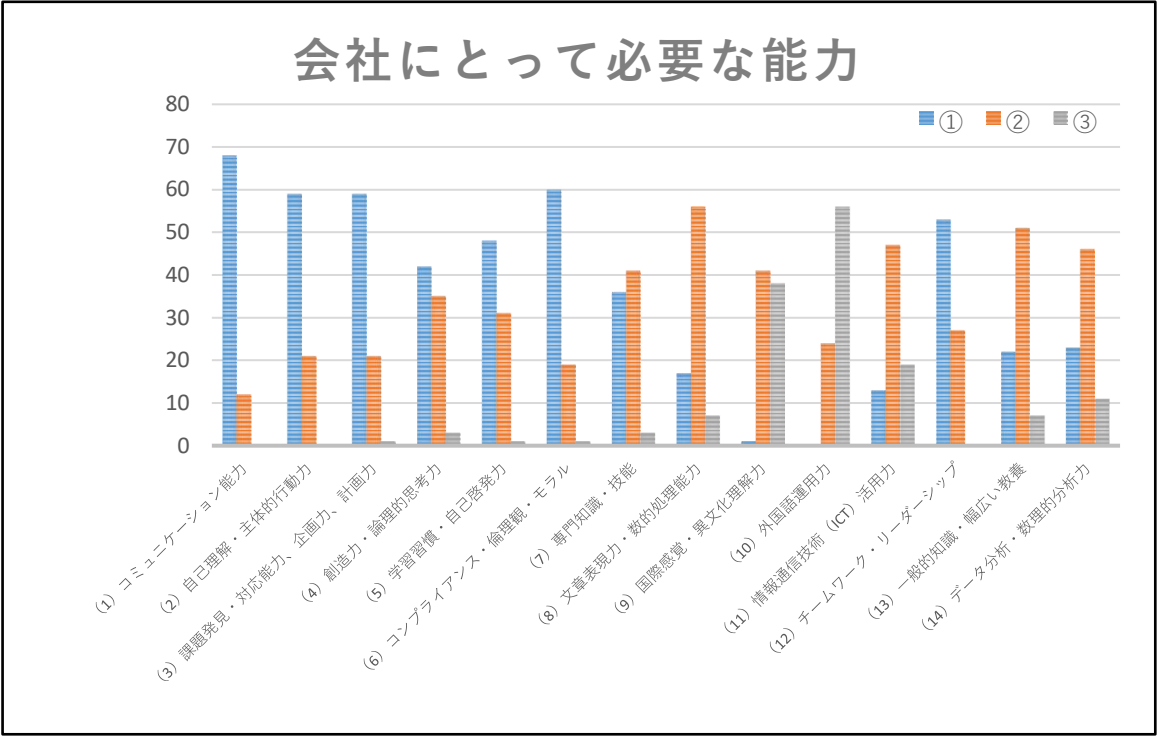
① 備わっている／強みがある ② どちらともいえない ③ 不足している／弱い



	①	②	③
(1) コミュニケーション能力	29	22	4
(2) 自己理解・主体的行動力	27	21	1
(3) 課題発見・対応能力、企画力、計画力	34	43	3
(4) 創造力・論理的思考力	29	46	4
(5) 学習習慣・自己啓発力	36	41	2
(6) コンプライアンス・倫理観・モラル	48	29	2
(7) 専門知識・技能	45	30	4
(8) 文章表現力・数的処理能力	20	53	6
(9) 国際感覚・異文化理解力	9	47	23
(10) 外国語運用力	4	42	33
(11) 情報通信技術（ICT）活用力	14	53	12
(12) チームワーク・リーダーシップ	37	35	7
(13) 一般的知識・幅広い教養	26	47	6
(14) データ分析・数理的分析力	21	51	7

B 下表 (1) ～ (14) の能力について、貴社・貴団体にとって必要／重要とお考えになるものについて、該当する番号を表のB欄にご記入ください。

① かなり重要 ② ある程度重要 ③ あまり重要でない

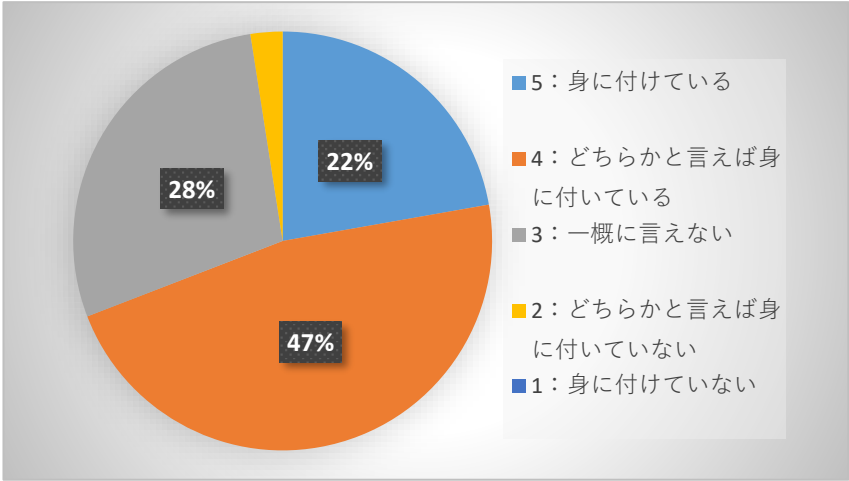


	①	②	③
(1) コミュニケーション能力	68	12	0
(2) 自己理解・主体的行動力	59	21	0
(3) 課題発見・対応能力、企画力、計画力	59	21	1
(4) 創造力・論理的思考力	42	35	3
(5) 学習習慣・自己啓発力	48	31	1
(6) コンプライアンス・倫理観・モラル	60	19	1
(7) 専門知識・技能	36	41	3
(8) 文章表現力・数的処理能力	17	56	7
(9) 国際感覚・異文化理解力	1	41	38
(10) 外国語運用力	0	24	56
(11) 情報通信技術 (ICT) 活用力	13	47	19
(12) チームワーク・リーダーシップ	53	27	0
(13) 一般的知識・幅広い教養	22	51	7
(14) データ分析・数理的的分析力	23	46	11

問2. ものづくり大学では、次の①から⑤に掲げる知識や資質を身に付けた学生に対して学位を授与する方針を掲げております。本学卒業生は、卒業時にそれらが身に付いていたと思われますか？

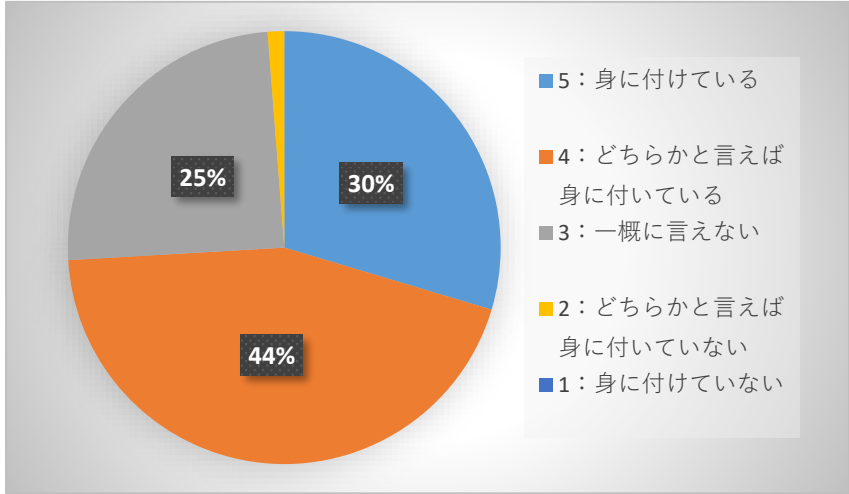
- 5：身に付けている 4：どちらかと言えば身に付けている
3：一概に言えない 2：どちらかと言えば身に付いていない
1：身に付けていない

① 高度なものづくりに対応できる基礎学力および工学の専門知識を有する



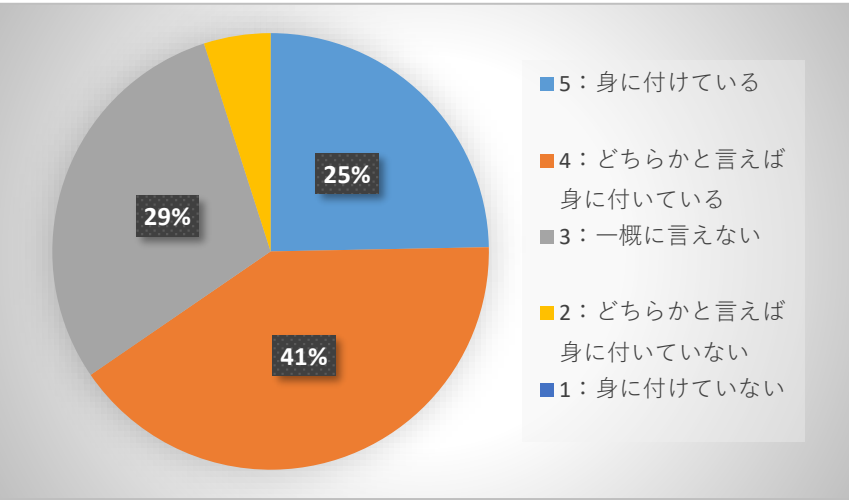
5：身に付けている	18
4：どちらかと言えば身に付いている	38
3：一概に言えない	23
2：どちらかと言えば身に付いていない	2
1：身に付けていない	0

②ものづくりのための基本的な技術・技能が実践でき、それらを体験的知識として応用する力を有する



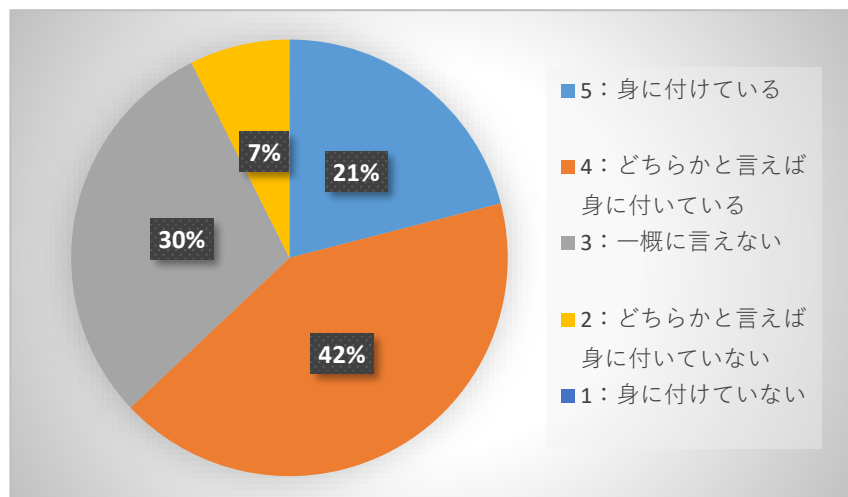
5：身に付けている	24
4：どちらかと言えば身に付いている	36
3：一概に言えない	20
2：どちらかと言えば身に付いていない	1
1：身に付けていない	0

③工業製品又は建築・土木等のものづくり実務に関する深い理解を有する



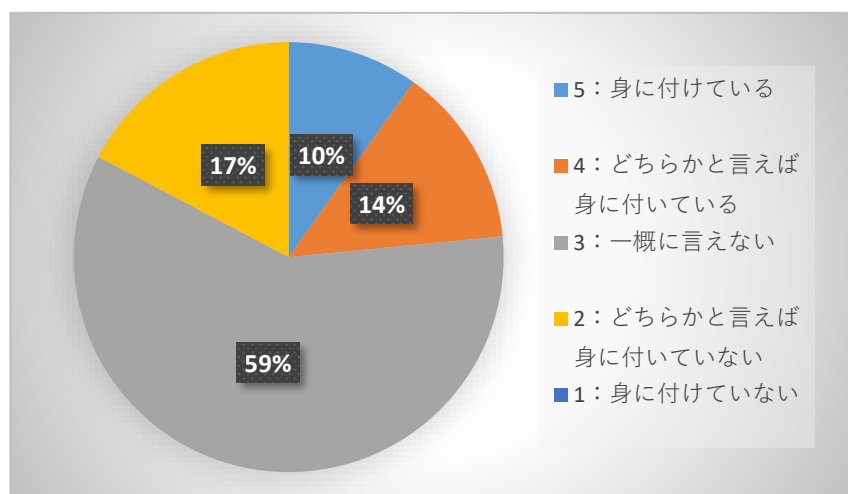
5：身に付けている	20
4：どちらかと言えば身に付いている	33
3：一概に言えない	24
2：どちらかと言えば身に付いていない	4
1：身に付けていない	0

④ものづくり現場での課題創出と実践的な課題解決に取り組む力を有する



5：身に付けている	17
4：どちらかと言えば身に付いている	34
3：一概に言えない	24
2：どちらかと言えば身に付いていない	6
1：身に付けていない	0

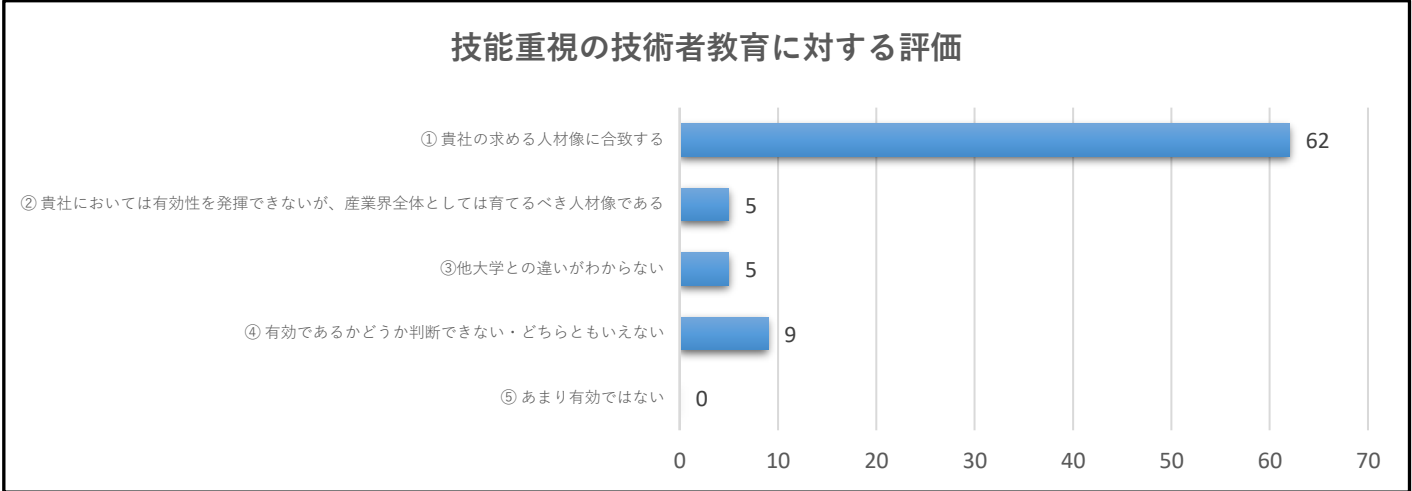
⑤豊かな教養と国際性を持ち、社会性、創造性、倫理性を有する



5：身に付けている	8
4：どちらかと言えば身に付いている	11
3：一概に言えない	48
2：どちらかと言えば身に付いていない	14
1：身に付けていない	0

問3. 技能重視の技術者教育による本学卒業生・修了生について、どのように評価されていますか？

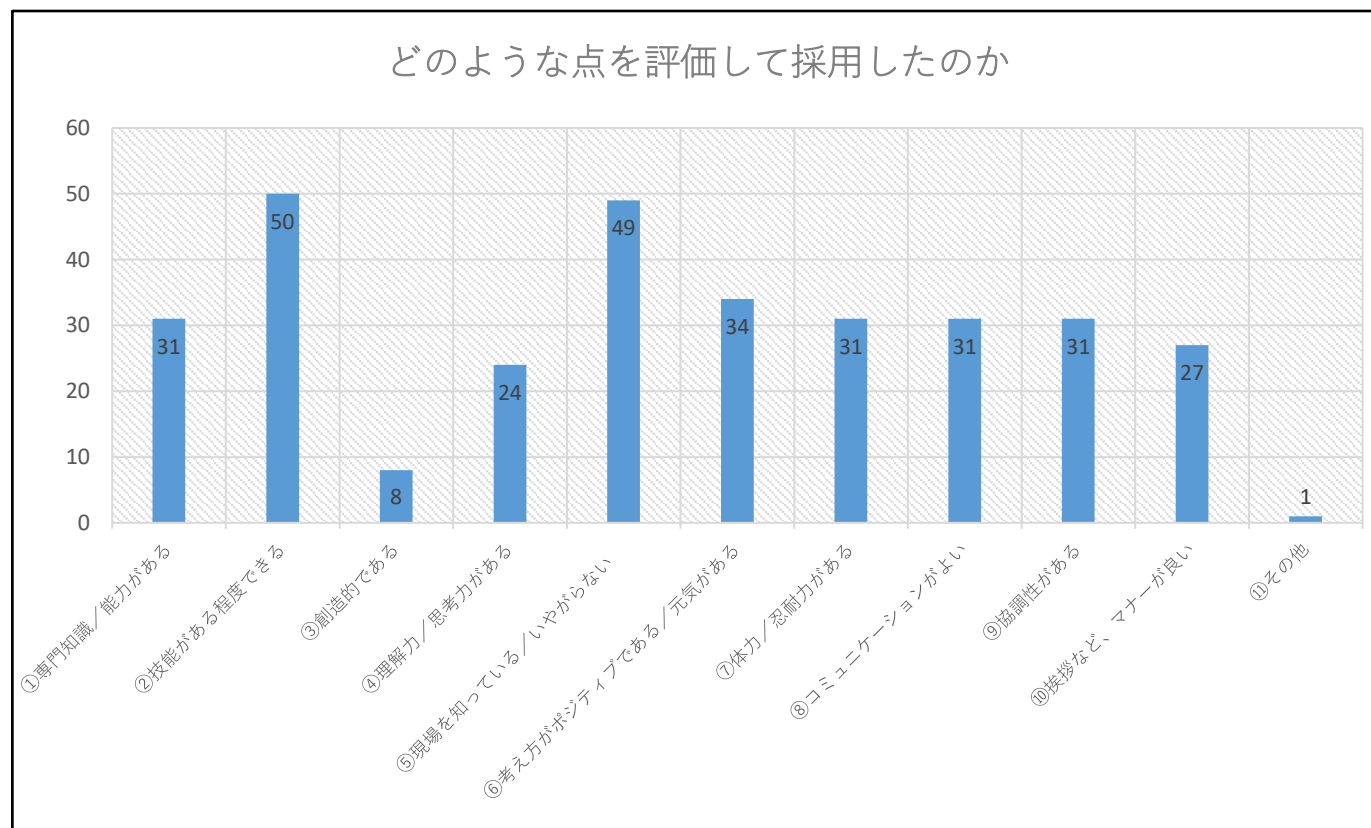
- ① 貴社の求める人材像に合致する
- ② 貴社においては有効性を発揮できないが、産業界全体としては育てるべき人材像
- ③ 他大学との違いがわからない
- ④ 有効であるかどうか判断できない・どちらとも言えない
- ⑤ あまり有効でない



質問項目	回答数
① 貴社の求める人材像に合致する	62
② 貴社においては有効性を発揮できないが、産業界全体としては育てるべき人材像である	5
③他大学との違いがわからない	5
④ 有効であるかどうか判断できない・どちらとも言えない	9
⑤ あまり有効ではない	0

問4. ものづくり大学の卒業生・修了生について、どのような点を評価されて採用されましたか？

- ① 専門知識／能力がある ② 技能がある程度できる ③ 創造的である
 ④ 理解力／思考力がある ⑤ 現場を知っている／いやがらない
 ⑥ 考え方がポジティブである／元気がある ⑦ 体力／忍耐力がある
 ⑧ コミュニケーションが良い ⑨ 協調性がある ⑩ 挨拶など、マナーが良い
 ⑪ その他



	回答数
①専門知識／能力がある	31
②技能がある程度できる	50
③創造的である	8
④理解力／思考力がある	24
⑤現場を知っている／いやがらない	49
⑥考え方がポジティブである／元気がある	34
⑦体力／忍耐力がある	31
⑧コミュニケーションがよい	31
⑨協調性がある	31
⑩挨拶など、マナーが良い	27
⑪その他	1

11.専門性はさほど高くない（製造系企業）

問5. 社会人として必要なこと、学生時代に身に付けておいて欲しい能力や資質、経験しておいて欲しいこと等を、自由にご記入ください。

- ・ 問題・課題の発見能力（技量）と解決方法（含むツール）の学習
- ・ コミュニケーション能力や困難を乗り越える諦めないメンタルの強さを身につけて頂けたらと思います
- ・ 施工管理の分野では多くの職人と接していかなければいけません。学生のうちに世代を超えたコミュニケーションを積極的にとってください
- ・ インターンシップ等により自身の能力を活かすためにコミュニケーション能力・協調性を身につけて頂きたい
- ・ 誰とでも明るくコミュニケーションを取る。インターンシップなどで実際の現場を見る
- ・ コミュニケーション能力。自我を通すだけでなく、周囲の意見を聞き、より良い結果に向かう姿勢があると社会人として期待する能力です
- ・ 日常生活での挨拶・モラル等。学習習慣や自己啓発力
- ・ 学問として大学で学んで来た内容と実務に及いて求められるものとは、実際に社会に出て来ると違うものがある。学生時代から実社会の現実を知り、経験しておいて頂ければ、離職率を下げることに繋がると思います
- ・ 問題が発生しても、その対処に取り組む心強さを持ってほしい
- ・ あいさつ。他者とのコミュニケーション能力
- ・ 他大学と違い、現場への適応力があると思います。専門知識において、基本的な部分を身につけるのはもちろんですが、社会への適応性が高い人材を求めます。インターンシップは効果的と考えます
- ・ グループワークやアルバイトを通じて、組織で活動する経験がほしい。自分の行動が他社にどう伝わるか理解してほしい
- ・ 技術に対しての自己啓発の必要性
- ・ 社会人になると、チームワークが重要になり、一人で成り立つ仕事はないと思いますので、仕事で関わる全ての人と良好な関係を築くことのできるコミュニケーション能力が必要だと思います
- ・ 積極性、主体性
- ・ コミュニケーション能力
- ・ コミュニケーション能力、忍耐力を着けて欲しい
- ・ 学生生活において、人とのコミュニケーション力と報・連・相の徹底を身につけてください
- ・ 何かしらを追求し最後までやりきった経験
- ・ よく学び、よく遊んでください
- ・ もっと早く動く様に習慣づける
- ・ 昨今の製造業に関しては、やはり海外での事業は切っても切り離せない案件です。最低限の日常会話は当然ですが、技術的な会話も必要ですので、専門的な外国語能力も学生時代から身につけられれば良いかと思います
- ・ 構造力学やコンクリート材料等建築分野の基礎知識の深化
- ・ コミュニケーション力
- ・ 弊社は受注事業ですが、今後は見込み事業も追加していく必要があると考えています。技術力とは別に企画力を持った学生さんを今後積極的に採用していきたいと考えます。学生さんには大学生活で様々な感性に触れ、企画力を養ってほしいと思います。
- ・ 積極性、創造力、誠実、思考力、マナー。また、現場で使う機械や道具を大まかに理解してほしい
- ・ 進捗管理の能力
- ・ 色々な人と関わり、会話する事
- ・ 主体性

- ・ コミュニケーション能力と積極的に学ぼうとする意欲と向上心があれば、社会に出て必ず力がつ
- ・ 資格は特に必要ありません（業界研究交流会で質問されました）技能を身に付けると共に、コ
- ・ 一人でできる仕事はないので、コミュニケーション能力は必要
- ・ 主体的に行動する中で学びを深める経験
- ・ 積極性と自己発信力です
- ・ 安全衛生関連・危険予知能力
- ・ コミュニケーション能力の向上とチームワークで物事を進める資質。粘り強く物事に取り組む力
- ・ 課題解決能力
- ・ コミュニケーションや協調性を重視しております
- ・ 自ら考え、判断して動く意識を持っていると成長スピードも速く活躍の場も広がりやすいと考えます
- ・ 気持ちの良い挨拶ができる方。サークル活動やアルバイトを通じ、社会経験、コミュニケーション
- ・ 一般常識、礼儀、忍耐力
- ・ 一般教養
- ・ パソコン（Excel・Word）の基本操作、今しかできないこと（旅行やボランティア等）
- ・ スマホ世代は、自分の好きな情報や分野には、多くの知識を持っている反面、政治、経済の分野
- ・ を含めた、社会の出来事に関する知識が薄いように感じます。大学教育の領域とは異なることからかもしれませんが、広く社会の仕組みや出来事に目を向ける習慣を身に付けて欲しいです。
- ・ 基本的なものの仕組み、基礎技術。協調性・コミュニケーション能力
- ・ コミュニケーション能力。建築に関わる基礎知識
- ・ 1番にコミュニケーション能力を身に付けて頂きたいです。御校の学生様は、コミュニケーション
- ・ 能力が高いので、継続的に採用したいです。
- ・ 文章作成能力、ITスキル
- ・ 建築に関する基本的な法令、JWCADの使用
- ・ コミュニケーション力をつけてほしい
- ・ 専門性は申し分ないので、様々な人との触れ合いや、経済・社会への関心を高めてほしいと願います
- ・ チームとして動く職場のため、チームワーク、コミュニケーション能力を身に付けて欲しい
- ・ ①コミュニケーション能力②体力・忍耐力が必要
- ・ チームワークの大切さ、自主的に活動出来る行動力
- ・ 計画性をもって行動すること、など
- ・ 社会人としてのマナー
- ・ コミュニケーション力、文章表現力、数的処理能力
- ・ 専門知識（土木・建築）をより深く身に付けて欲しい
- ・ アルバイト等、学業以外の社会人経験も体験しておいてもらいたいです。
- ・ 挨拶はもちろん、明るく元気な人格
- ・ 一つ（一分野）でも良いので、ものづくりに関して好奇心（オタクであって欲しい）と知識を持っていて欲しい（意欲も）
- ・ 現場監督の業務は職員さんとのコミュニケーション（指示）が重要です。コミュニケーション能力を付けておくのが良いと思います。
- ・ 一般常識、あいさつ、会話の受け答え、仕事に対する熱意
- ・ 雑談力、仕事を進める上で潤滑油となる雑談（実は一般教養）を上司が話しても「知らない」または無言。知らないことを相手から引き出して教えてもらおうという意欲がない
- ・ 物事が上手くいかない時、考え方をポジティブに持っていき諦めず、根気よく続けられる術を身に付けて欲しい。色々な人とコミュニケーションがとれるように、行動範囲を広げて、経験値を上げて欲しい。

問6. 今後のものづくり大学の教育活動について、貴社が希望されること又は期待を持たれていることについて、自由にご記入ください。

- ・ 現在のものづくりへの姿勢のままで良いかと思います
- ・ 製造現場を重視する方針を続けていただきたいと思います
- ・ 施工管理の魅力をどんどん学生に伝えてください
- ・ これまでのように実技・実務能力のある学生さんを育ててください
- ・ インターンシップが長期間のため、建設学科2年生ではなく、3年生にすることで、その後の就職活動に直結するようにしてほしいです
- ・ 大学で学ぶ専門知識は、かなり高レベルであり、入社後も早期活躍が期待でき、希望します
- ・ 引き続き「ものづくり魂」を吹き込んだ学生をお願いいたします
- ・ 土木・建設業界の中でも地味で目立たない測量業の重要性や魅力を少しでも大学側で生徒の方々へ伝えて頂ければと思います
- ・ もう少し「測量」「土木設計」のカリキュラムも増やして欲しい
- ・ 建設業の施工管理に興味を持って頂ける学生がより増えると嬉しく思います
- ・ 貴学の方針に大いに期待しております。これからも社会が求める人材の育成にご尽力ください
- ・ 鋳造実習を今後も継続して頂きたいです
- ・ ものづくりへのあきなき追求
- ・ ものづくり大学様は、技術者育成に尽力なさっていることを学び、当社の施工管理業務における専門的知識として、とても期待のもてる教育活動をされている印象がありました
- ・ 自分の意見を持ち、発言・行動ができる訓練
- ・ 実践的教育に基づいたものづくり大学での学生を輩出していただければと思います
- ・ 社会人を引退するまで、施工管理職に従事して頂ける学生を輩出してください。本日はありがとうございます。来年もよろしくお願いいたします。
- ・ 心理学的視点での対人コミュニケーション指導
- ・ 今持っている能力を伸ばして頂ければと思います
- ・ 実践力の向上に努力してほしい
- ・ 経済の縮小傾向が強い日本に於いては、更なる製造の技術力が求められる時代だと思います。製造を観る力、新しい発想や感性等、バランス感覚に優れた人材育成を期待します。
- ・ 元気の良い学生を育てて下さい
- ・ 40日間のインターンシップや企業交流会への1年生からの参加など、社会への順応性を養う教育に感動しました。社会に出て早いうちにリーダーとして活躍される方の育成を期待します。
- ・ 人間力、専門的知識や技術力、様々な基本技能を身につけて欲しい。また、コミュニケーション能力が大事だと思う。対応力の高い人材育成をお願い致します
- ・ 幅広い知識を持ち、応用の効く力を身につけられるような教育をしていただきたいと思います
- ・ 国内にとどまらず、海外でも通用する（生活できる）タフさを備えた人材の輩出を期待しております。
- ・ 定期定な企業交流をし、学生のうちから社会を意識して将来の自分像をしっかりとってもらいたいと思います
- ・ 業界研究交流会は今後も続けてほしい
- ・ 弊社の事業が橋梁・鉄骨の製造・建設のため、一般的に業界の事を知ってもらえていない。少しでもこういった分野の教育をしてもらいたい
- ・ 当社は静岡県・神奈川県に拠点を有する企業のため、北関東での就職を望むものづくり大学の学生様にはエントリーして頂けない。（昨年のエントリー数は0名）可能であれば、学生の出身地・就職希望地の多様性を確保していただきたい。
- ・ 意欲の高い方をぜひ採用させていただきたいと思います

- ・ 上記に関連しますが、安全作業についての意識付けをより期待いたします。技術面は申し分ないと思います
- ・ 技能に関し、非常に熱心に取り組まれていると感じております。今後ともよろしくお願い申し上げます
- ・ 責任感や素直さ
- ・ ものづくりに対して知識が豊富であることに期待をしております
- ・ より現場に近い位置での技術・技能と知識を持った人材の輩出を期待します
- ・ 専門知識を深め、いろんな事に挑戦して欲しいです
- ・ 柔軟性
- ・ 思考に基づいた計画の立案と実行
- ・ 他校と大きな差別化を図っており、今年も1名入社致します。今後も、益々期待しています
理論と実践、両方を重視した教育を引き続き維持して頂きたいです。弊社の物づくりは、オーダーメイドの製品が大多数を占めるため、問題を発見し自ら解決する案を生み出す能力が必要となります。その意味で貴校の教育方針のもとで、しっかりと学んで来た方は、大きな力になると思います。
- ・ 周囲と協調、協力をしながらものを作り上げるカリキュラム
- ・ 1級建築施工管理技士に受かる能力
現在のものづくり大学様の教育活動は、とても素晴らしいと考えております。今後とも、何卒よろしくお願い致します。
- ・ 現在、専門的知識については備わっているので、「もの」という形だけでなく、PC、文章表現でアウトプットできる力を身に付けてもらえればと思います
- ・ 建築業が好きにならないと離職することが多い。本業の魅力を教育してほしい
貴学の学生様は専門的な領域においては他大学より大いに優れていると思います。社会性やコミュニケーションの力が備わると、さらに強みが増すと思い、期待しております
- ・ 専門知識、技能を持ち、即戦力として働ける学生を教育してほしい
- ・ 専門分野の知識の習得
- ・ 建築系のキャド操作が思い通りに出来るスキル
- ・ 実践的な学習
- ・ インターンシップなど受入は可能ですので、ご連絡ください。
- ・ ものづくりが大好きであって欲しい。好きであれば技術・技能は後から付いてくると考えます
御校の学生は長期インターンシップも行われているので、他同期と比べ、技能面は有していると考えております。引き続き、お願い致します。
- ・ 専門知識・技術を持った学生さんが弊社に入社いただけることを期待しております
施工管理を希望する学生は、他大学より積極性を感じる。継続的に採用していきたいと考えている。
- ・ 技術や知識の取得だけでなく、人とのコミュニケーションがとれる人材育成にも期待する。

問7. 昨今、若い世代の3年以内離職率が問題となっております。貴社・貴団体において、ものづくり大学の卒業生・修了生の3年以内離職状況はどの程度でしょうか。

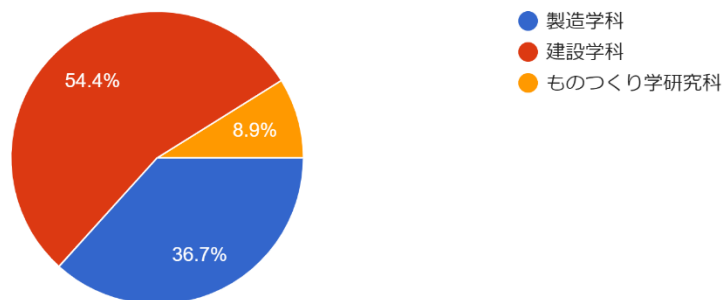
回答企業数	総採用者数	3年以内離職者数	3年以内離職率
81	248	24	9.7%

ものづくり大学の教育に関するアンケート（卒業生向け）最終報告

1. 調査の対象：ものづくり大学卒業生 3,521 人
2. 回答者数： 158 人（うち有効回答 151 人）
3. 有効回答率： 4.3%
4. 卒業時期 3 区分別集計は有効回答 151 件で集計したものである（集計方法に卒業時期 3 区分としている）。
3 区分は、第 1 期 2004～2008 年度 14 件(9.3%)、第 2 期 2009～2013 年度 20 件(13.2%)、
第 3 期 2014～2018 年度 117 件（77.5%）の区分である。

問1. あなたご自身についてお伺いします。

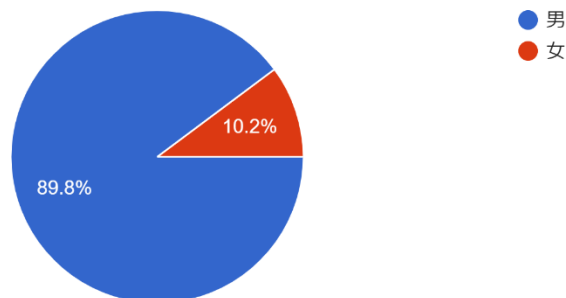
卒業学科・研究科を選択してください
158 件の回答



○ 卒業生 3,521 人のうち

製造学科卒業（大学院修了を除く）1,534 人に対して、56 人で回答率 3.6%
建設学科卒業（大学院修了を除く）1,853 人に対して、86 人で回答率 4.6%
大学院修了 134 人に対して 14 人で回答率 10.4%

性別
157 件の回答

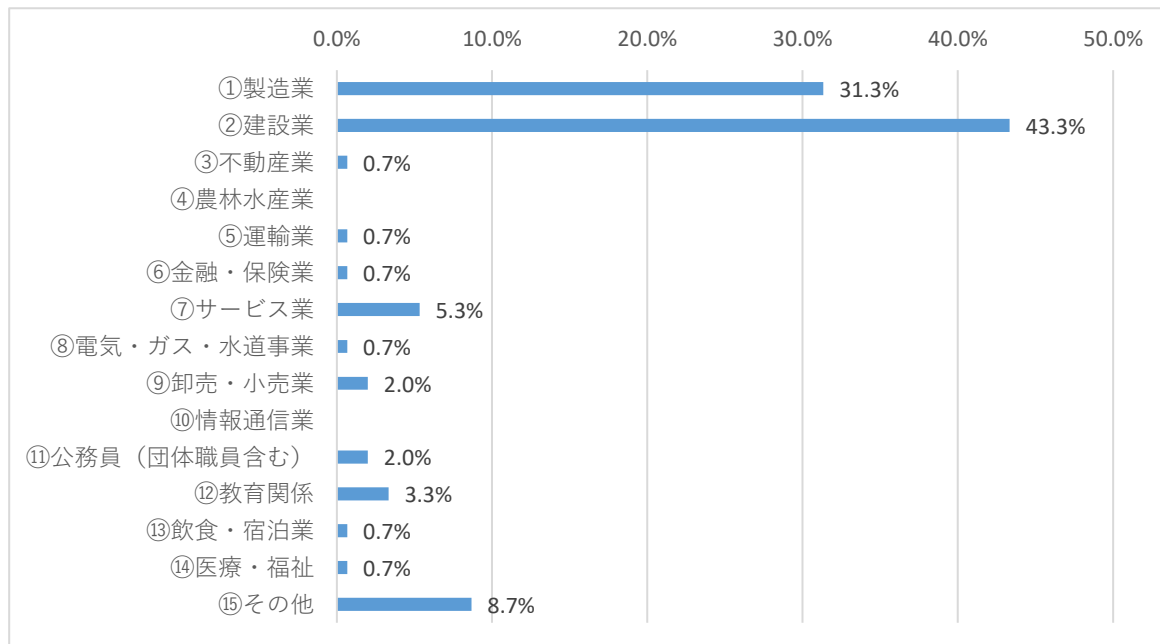


回答者内訳（重複を除いた有効回答数 151 件）

卒業年度	製造学科		建設学科		大学院
	男	女	男	女	
2004 年度	0	0	3	1	0
2005 年度	2	0	4	1	0
2006 年度	1	0	0	1	0
2007 年度	0	0	1	0	0
2008 年度	0	0	0	0	0
2009 年度	1	0	0	0	0
2010 年度	2	1	1	0	0
2011 年度	1	0	2	0	0
2012 年度	0	0	3	1	1
2013 年度	2	1	1	1	2
2014 年度	0	0	3	0	0
2015 年度	4	1	8	0	1
2016 年度	9	1	9	1	4
2017 年度	12	1	14	3	0
2018 年度	15	0	23	2	6

問2. 勤務先について、教えてください。

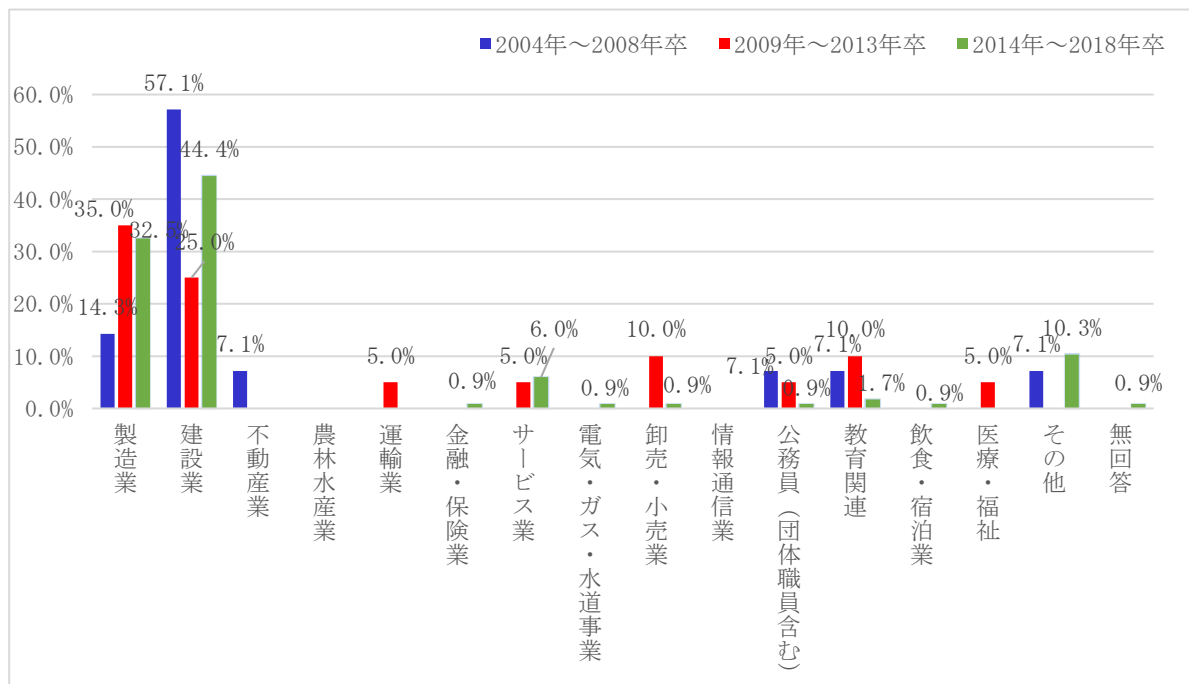
(1) 勤務先の主たる業種について教えてください。



○ 建設業と製造業が圧倒的に多く 3/4 を占める。

○ 但し、3 区分で見ると第 1 期は建設学科出身が多いため、建設業が多い。

(3 区分集計)

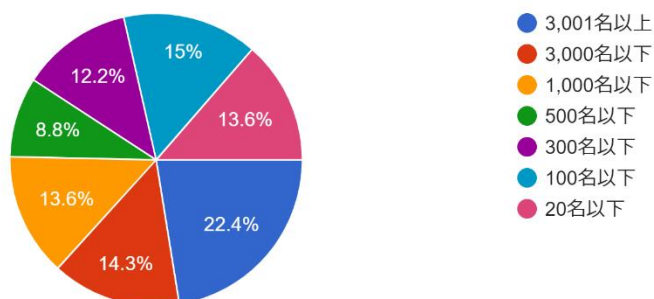


(2) 差し支えなければ勤務先名称を教えてください。(省略)

(3) 勤務先の従業員数について、教えてください。

勤務先の従業員数について、教えてください。

147 件の回答

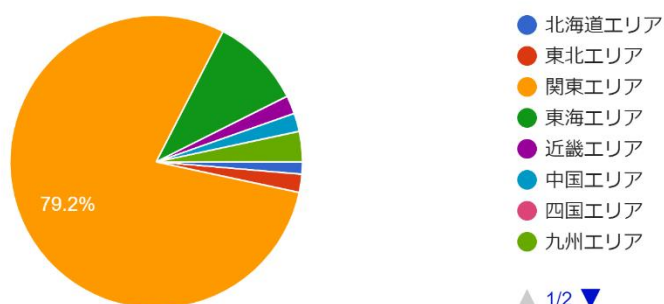


○ 従業員 300 名以下の中小企業は 4 割強である。

(4) 現在の勤務地について、教えてください。

現在の勤務地について、教えてください。

149 件の回答

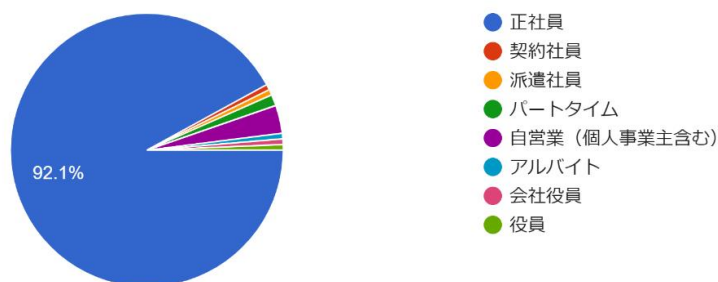


○ 圧倒的に関東エリアが多く、8 割近くを占める。

(5) 勤務先での雇用形態について、教えてください。

勤務先での雇用形態について、教えてください。

151 件の回答

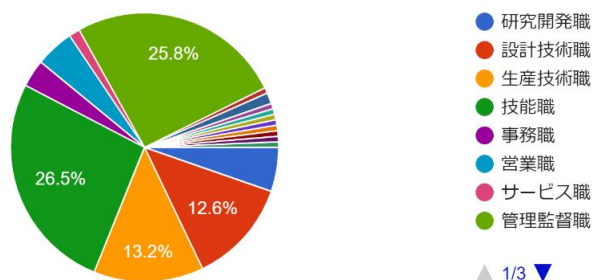


○ 9 割以上が正社員である。

(6) 勤務先での職種について、教えてください。

勤務先での職種について、教えてください。

151 件の回答



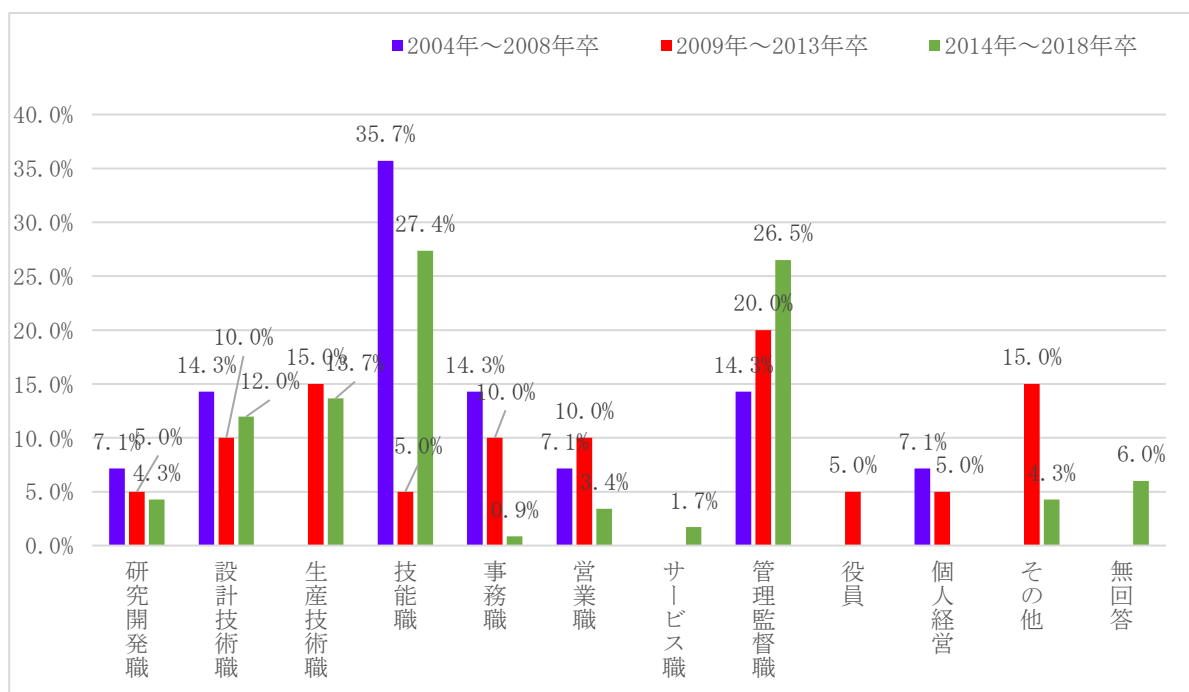
研究開発職
設計技術職
生産技術職
技能職
事務職
営業職
サービス職
管理監督職

▲ 1/3 ▼

○ 職種は、技能職と管理監督職が 1/4 ずつ程度で多く、次に生産技術職、設計技術職が 1 割強ずつとなっている。

○ 3 区分別では、第 1 期では技能職がかなり多く、第 2 期では管理監督職、生産技術職が多く、第 3 期では技能職と管理監督職が多くなっている。

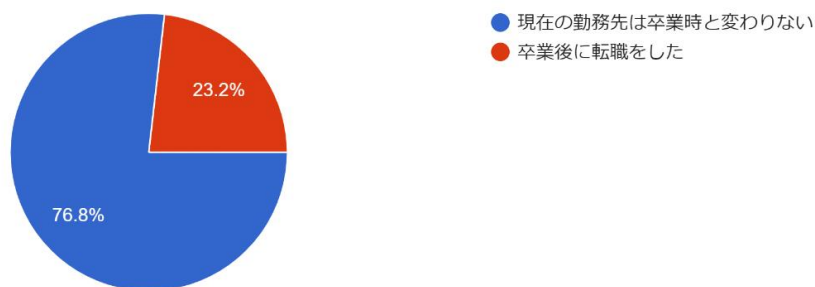
(3 区分集計)



(7) 現在の勤務先について、教えてください。

現在の勤務先について、教えてください。

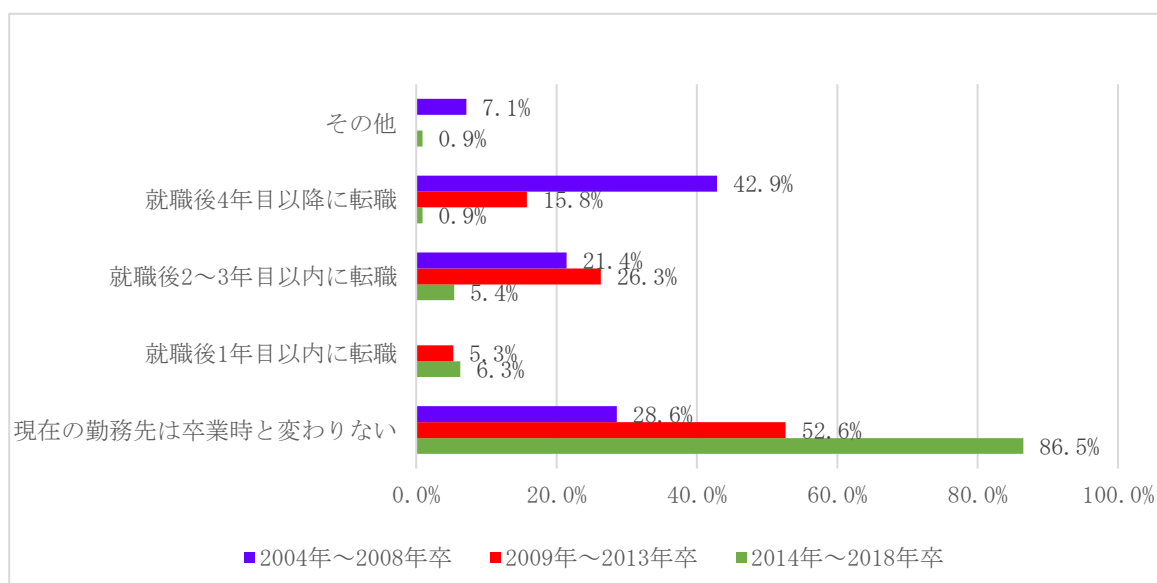
151 件の回答



○ 3/4 が卒業時のままの就職先である。

(8) 卒業後、何年目で転職されましたか？

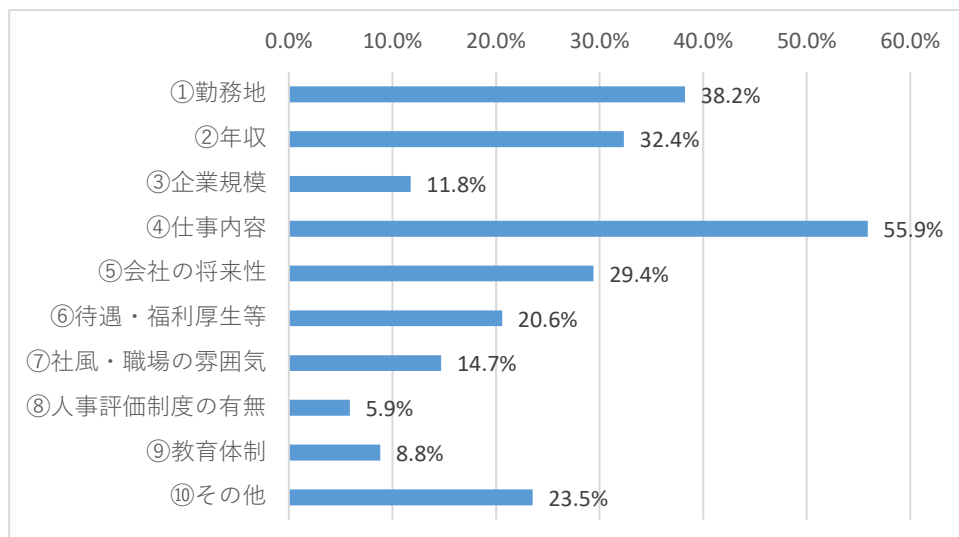
(3 区分集計)



○ 1年目の転職は多くはないが、2～3年目以降は、どの期においても転職が起きている。

(9) 転職で重視した点について、教えてください。(複数回答可)

回答件数 34 件



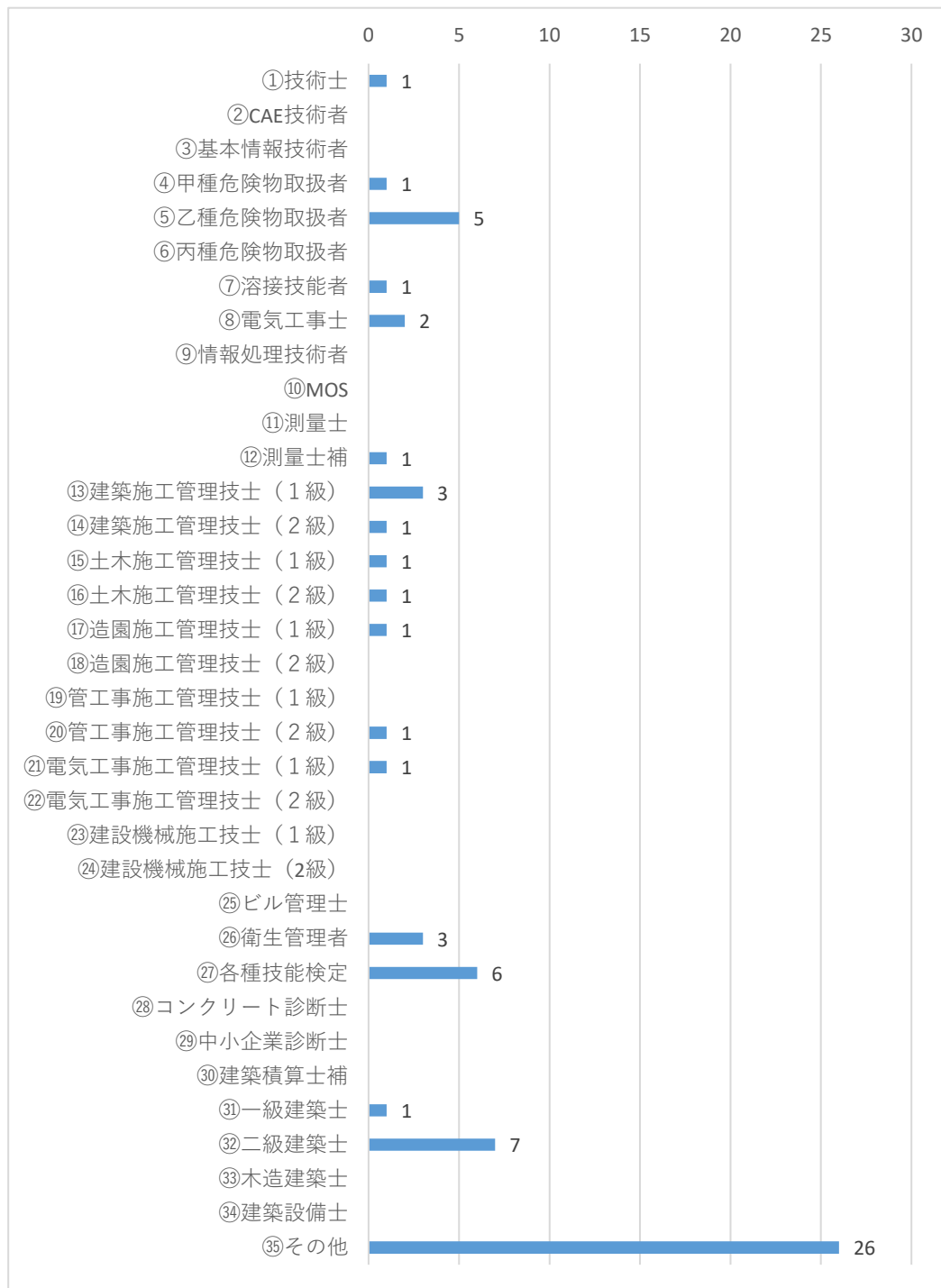
【その他の回答】

- ・スキルアップ ・もう一度建築を深く学びたかった。 ・海外留学
- ・残業時間の少なさ ・仕事そのものでメンタルを壊すか否か
- ・自動車通勤が不可になったため（ドクターストップ）
- ・親の職業を継ぐため ・人間関係・パワハラ

○ 転職で重視した点は仕事内容が最も多く、続いて勤務地、年収、会社の将来性となっている。

（10）卒業後に取得した資格はありますか？（複数回答可）

回答件数 42 件



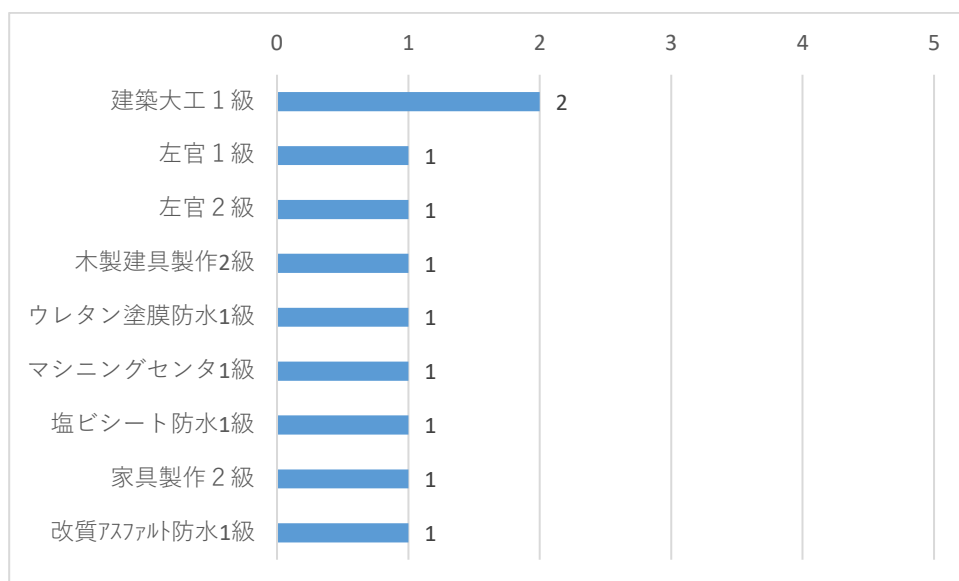
【その他の回答】

- ・3次元CAD関連資格 ・アマチュア無線4級 ・エコ検定 ・エネルギー管理員

- ・デジタル技能検定 3 級 ・大学院 ・一級舗装施工管理技術者
- ・応急危険度判定員 ・インテリアコーディネーター
- ・ファイナンシャルプランナー
- ・フォークリフト ・フォークリフト運転技能講習
- ・ホイストクレーン ・軌道工事管理者 ・給水装置工事主任技術者
- ・玉掛け(1t 以上) ・型枠支保工 ・消防設備士 ・職業訓練指導員
- ・宅地建物取引士 ・特化物 ・普通運転免許 ・簿記 3 級
- ・無人航空機操縦技能証明証(JUIDA) ・有機溶剤

- 卒業後の資格取得では、多い順に、二級建築士が 7 人、各種技能検定が 6 人、乙種危険物取扱者 5 人、建築施工管理技士（1 級）が 3 人。衛生管理者が 3 人、電気工事士が 2 人
- 他は 1 人ずつで、攻守危険物取扱者、溶接技能者、電気工事施工管理技士（1 級）、一級建築士、宅地建物取引士等の資格が挙げられている。

(11) 問 2 (10) で「㊦各種技能検定」を選択された方は、取得した資格について教えてください。



- 各種技能士としては、建設系の大工、左官、家具、木製建具と、製造系のマシニングセンター1 級などが挙げられた。
- 一部は複数を取得している卒業生もいる。

問3. 次の表に掲げる能力は、本学が卒業時に学生に身につけていて欲しいと考え、定めた能力です。ものづくり大学での学習成果として、その能力がどの程度身に付いたか、実社会での経験に照らしてお答えください。

A 欄. 卒業後～現在までに（1）～（7）の能力を身に付けることが出来ましたか。

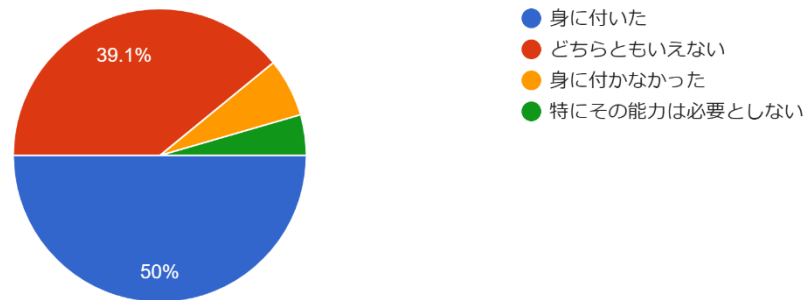
B 欄. A 欄で「＜1＞身に付いた」をつけた項目において、ものづくり大学での学びの中で何が役に立ったか、＜1＞以外をつけた項目については、身につけるとすれば何が役に立つと思われるかご記入ください。（複数回答可）

(1) 高度なものづくりに対応できる基礎学力と専門的知識

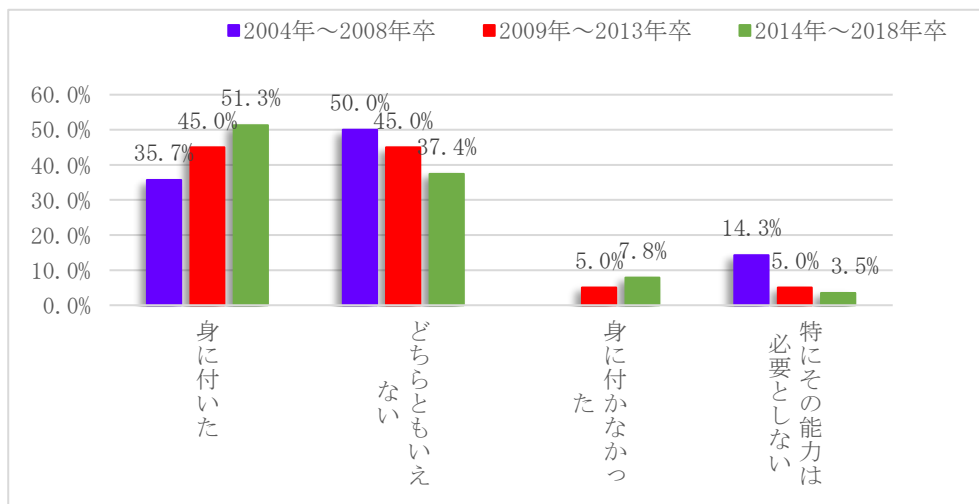
A 欄集計

高度なものづくりに対応できる基礎学力と専門的知識

156 件の回答



A 欄 (3 区分集計)

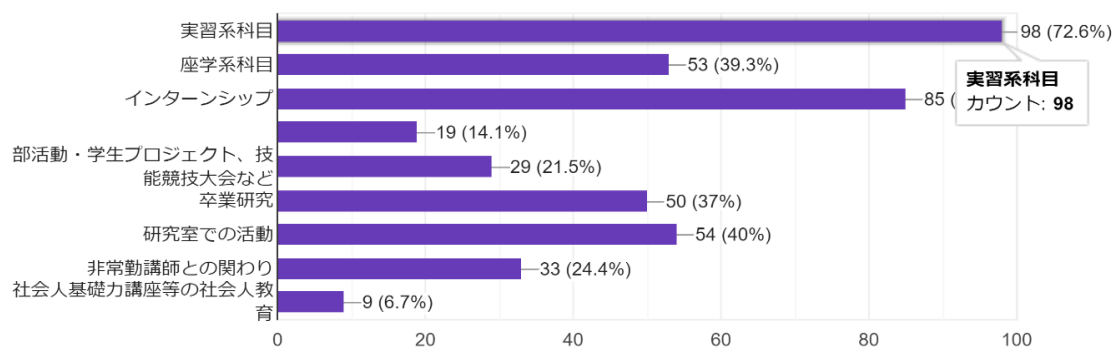


- 半数の卒業生が身に付いたとしている。
- 3 区分では身に付いた割合は近年ほど高く、第 1 期の卒業生ではどちらとも言えないが高かった。

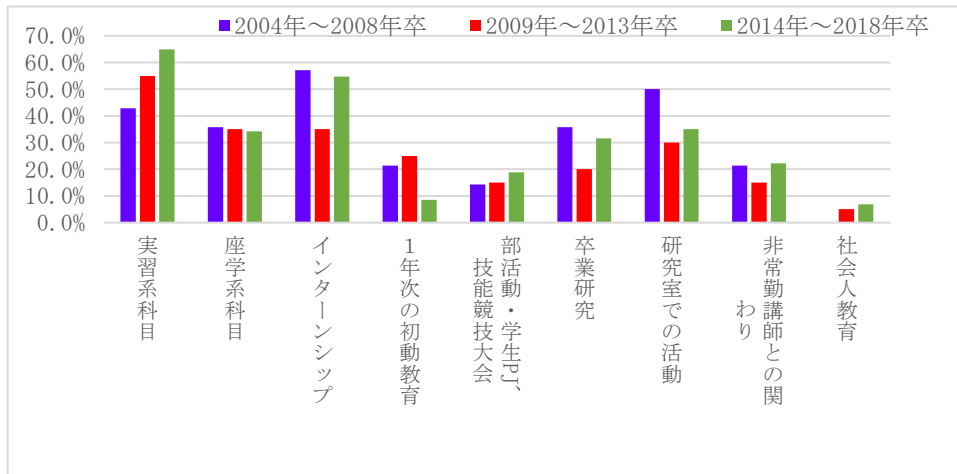
B 欄集計

高度なものづくりに対応できる基礎学力と専門的知識

135 件の回答



B 欄 (3 区分集計)

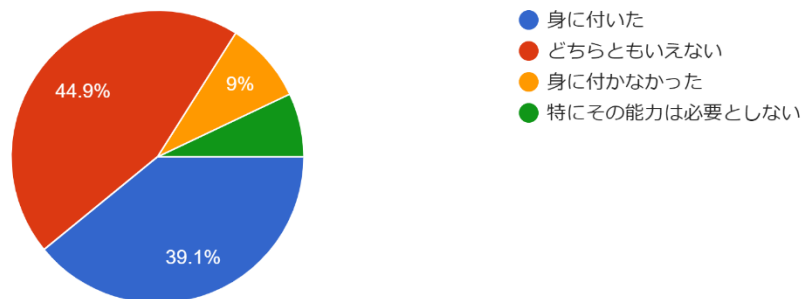


- 身に付けるために役立つ科目としては、実習系科目、インターンシップが高く、次に研究室活動、座学系科目、卒業研究となっている。
- 3 区分では、ばらつきはあるが、上位 5 項目の内容には変化がない。

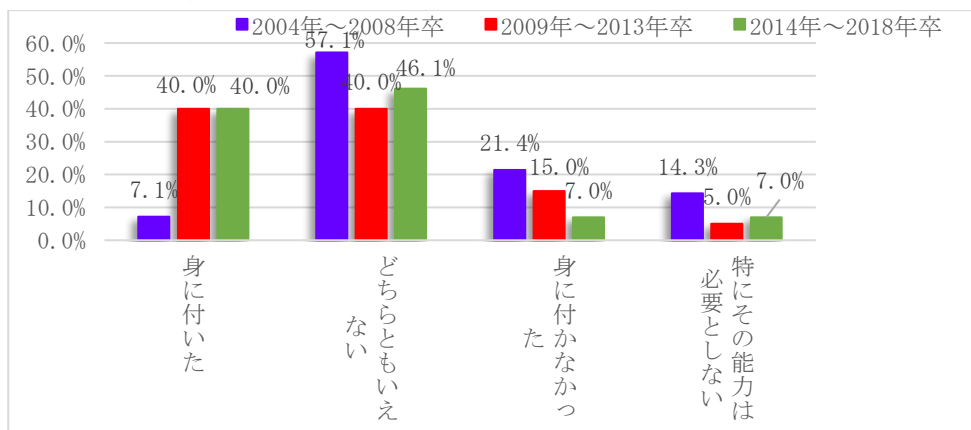
(2) 高度なものづくりに対応できる技能技術

A 欄集計

高度なものづくりに対応できる技能技術
156 件の回答



A 欄 (3 区分集計)

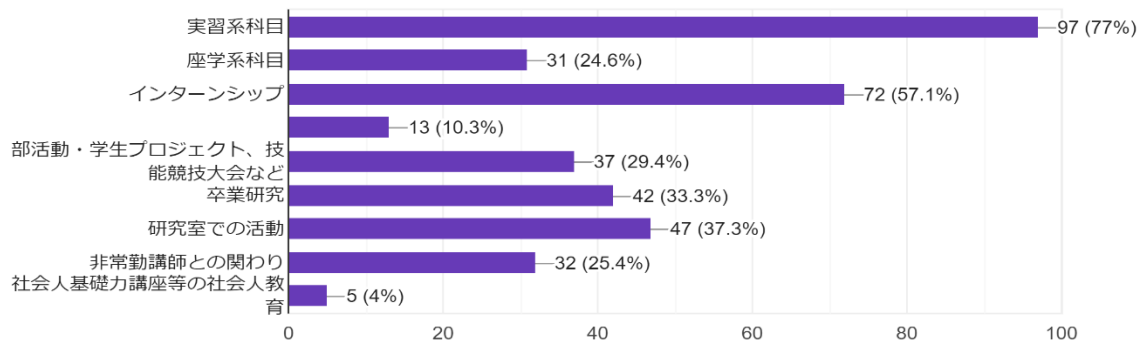


- 「身に付いた」と「どちらともいえない」が同程度となっている。
- 3 区分別では、第 1 期が「どちらともいえない」が多かった以外は大きな差はない

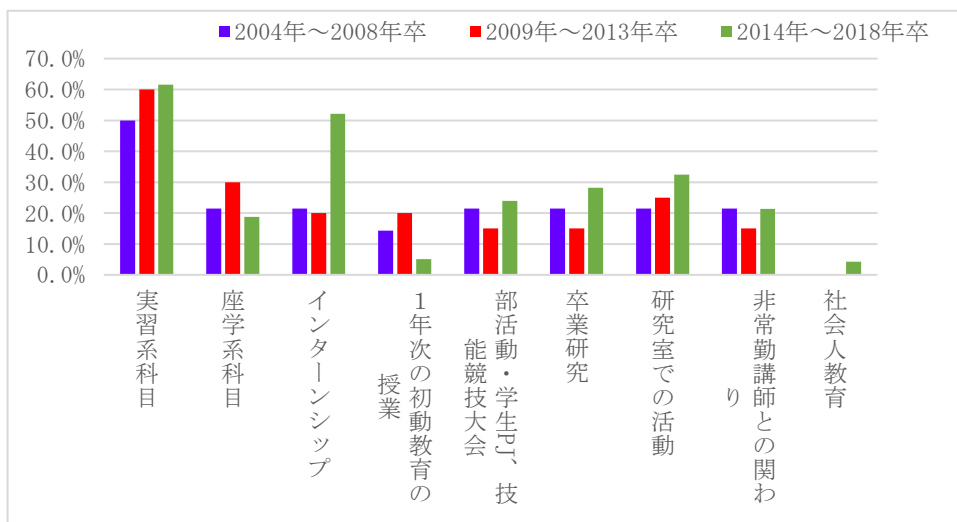
B 欄集計

高度なものづくりに対応できる技能技術

126 件の回答



B 欄（3 区分集計）



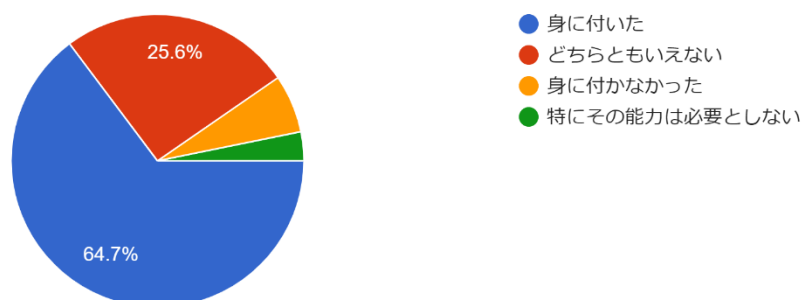
- 身に付けるために役立つ科目としては、実習系科目が極めて高く、次にインターンシップが高くなっている。
- 3 区分別では、第 3 期においてインターンシップがかなり高い割合となっており、第 1 期と第 2 期では実習系科目が 50% 以上の多数である。

(3) 現場力 ものづくりを実践することから得られる創意工夫する力

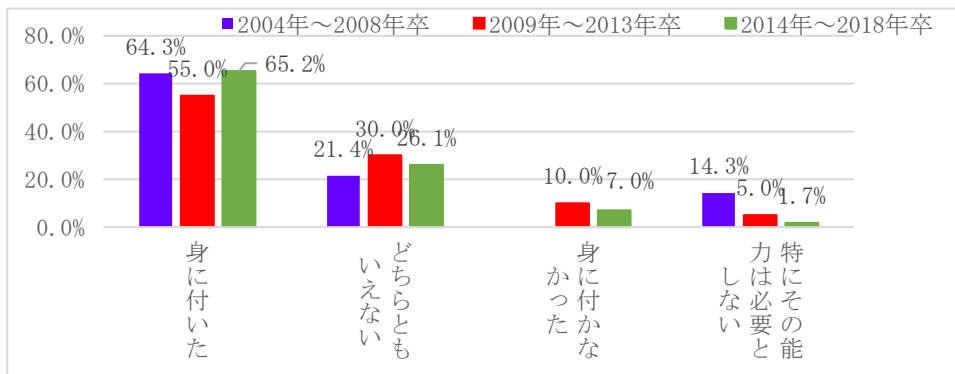
A 欄集計

現場力（ものづくりを実践することから得られる創意工夫する力）

156 件の回答



A 欄 (3 区分集計)

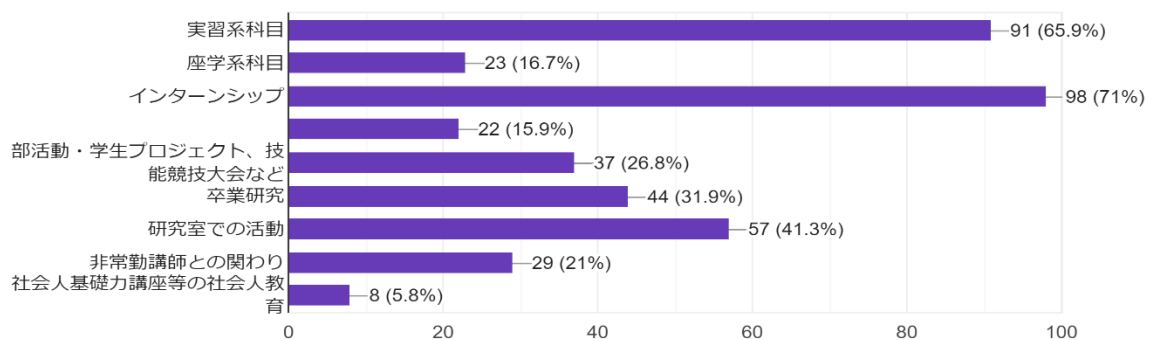


- 身に付いたが 65%で高く、卒業時期によらない。

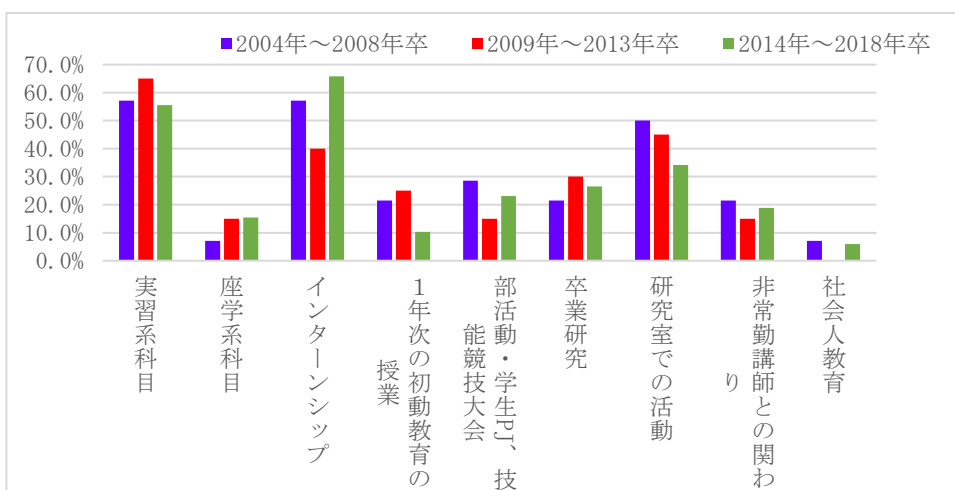
B 欄集計

現場力（ものづくりを実践することから得られる創意工夫する力）

138 件の回答



B 欄 (3 区分集計)

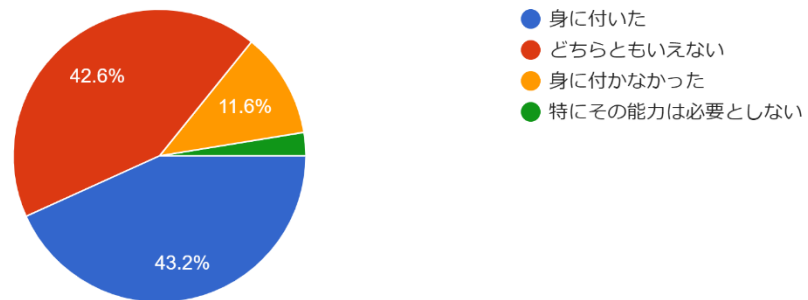


- 身に付けるために役立つ科目としては、インターンシップが最も高く、実習系科目も極めて高い。第3位は研究室活動、第4位は卒業研究である。
- 3 区分別では、第2期がインターンシップより研究室活動が高くなっている上位3項目の内容に変化はない。

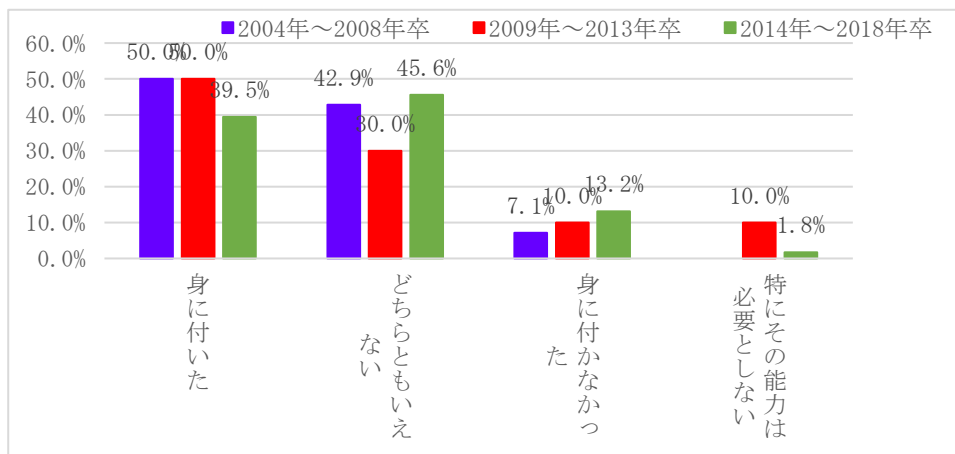
(4) 課題設定・解決力, マネジメント力 課題を見出しチームで協力して解決する力

A 欄集計

課題設定・解決力, マネジメント力 (課題を見出し...ムで協力したり、リーダーとなって解決する力)
155 件の回答



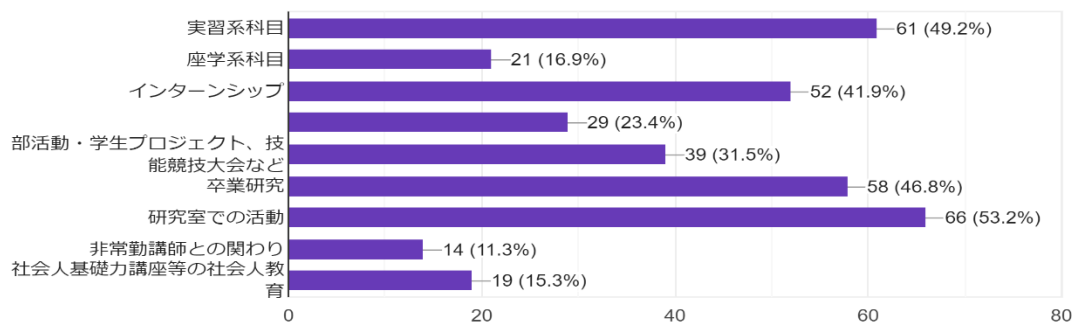
A 欄 (3 区分集計)



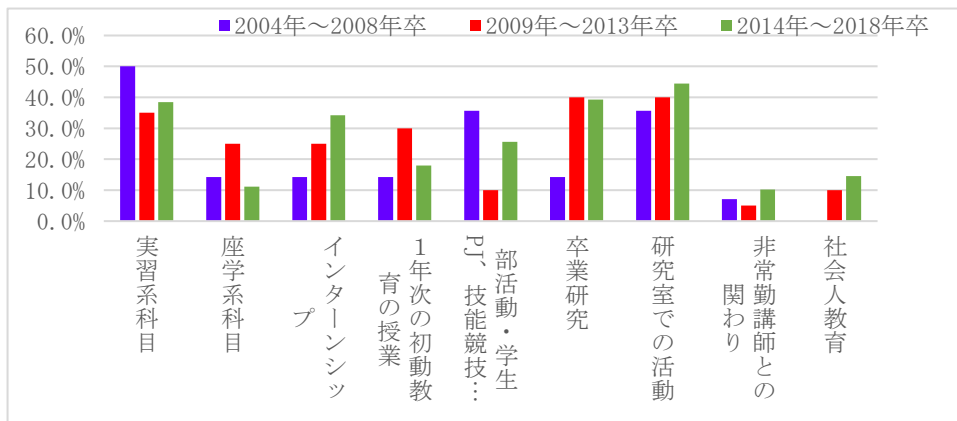
- 「身に付いた」と「どちらともいえない」が同程度となっている。
- 3 区分別でも第 2 期で「どちらともいえない」が少し少ない以外は、大きな差はない

B 欄集計

課題設定・解決力, マネジメント力 (課題を見出し...ムで協力したり、リーダーとなって解決する力)
124 件の回答



B 欄 (3 区分集計)



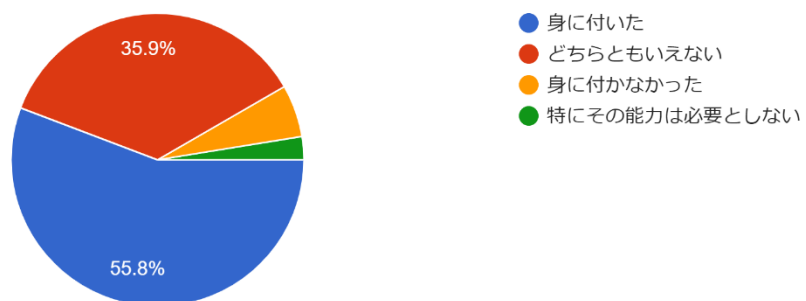
- 身に付けるために役立つ科目としては、「研究室活動」が最も高く、続いて「実習系科目」「卒業研究」となっており、インターンシップは4位とは言えやや下がっている。
- 3 区分別では、第1期が「実習系科目」の次に「部活動等」で「研究室活動」が第3位。第2期が「卒業研究」と「研究室活動」が同等で3位が「実習系科目」。第3期が回答数が多いこともあり、全体集計と同様である。

(5) 耐力、胆力 困難に向き合い乗り越える力

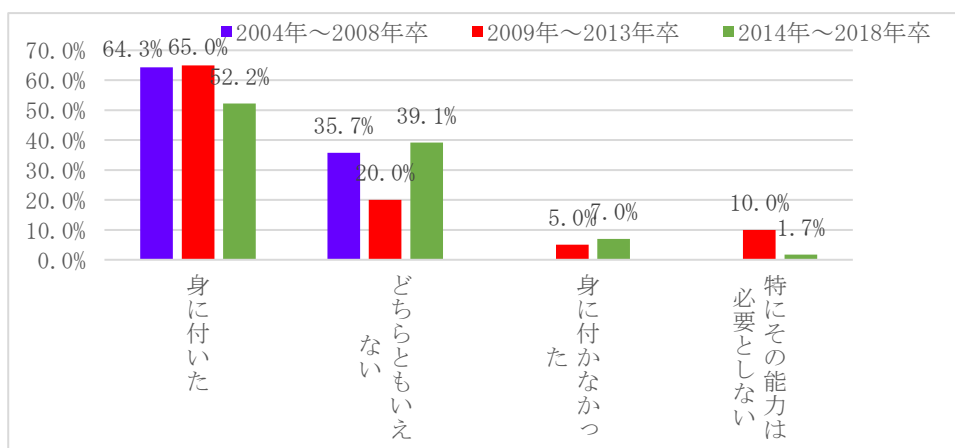
A 欄集計

耐力、胆力（困難に向き合い乗り越える力）

156 件の回答



A 欄 (3 区分集計)

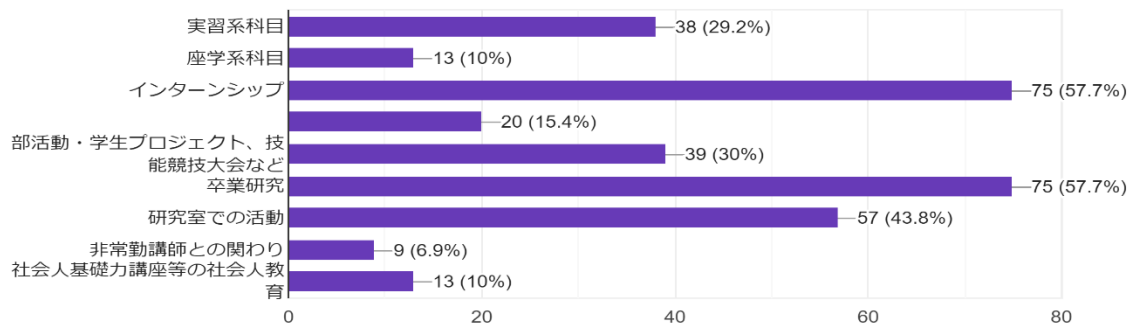


- 「身に付いた」が半数を超えたが、「どちらともいえない」もかなり高い。
- 3 区分別でも同様である。

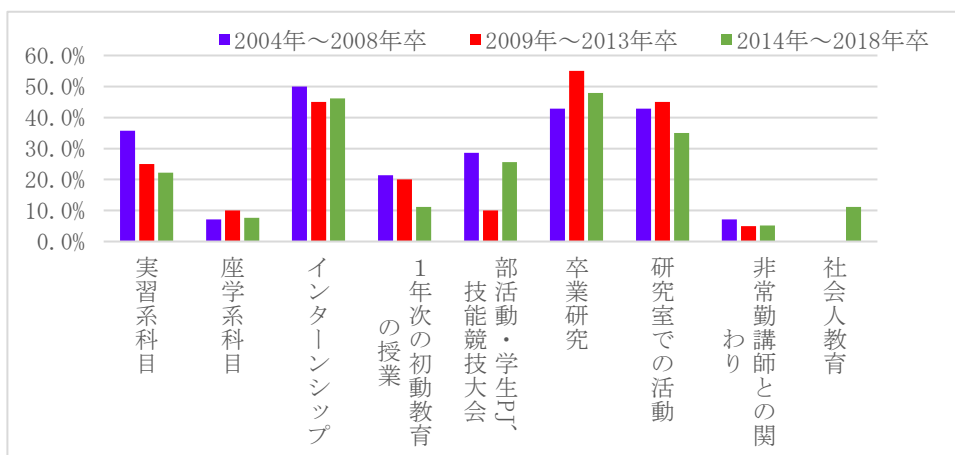
B 欄集計

耐力、胆力（困難に向き合い乗り越える力）

130 件の回答



B 欄（3 区分集計）



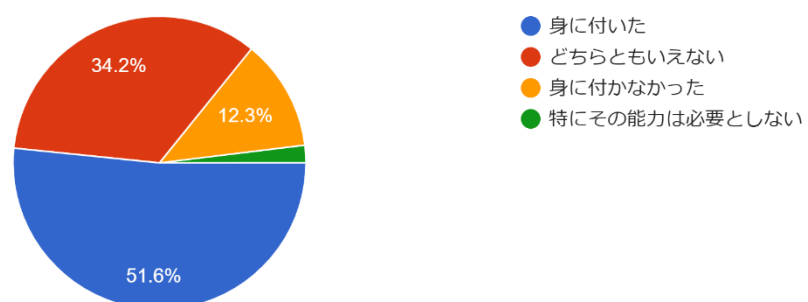
- 身に付けるために役立つ科目としては、「インターンシップ」と「卒業研究」が最も高く並んでおり、第3位が「研究室活動」でやや下がっている。
- 3 区分別では、第1期が「インターンシップ」が最も高くなっており、第2期と第3期では「卒業研究」が最も高い。

(6) 協調力 多様性を受容、尊重して異文化を受け入れ科学技術、社会経済のグローバル化に対応できる力

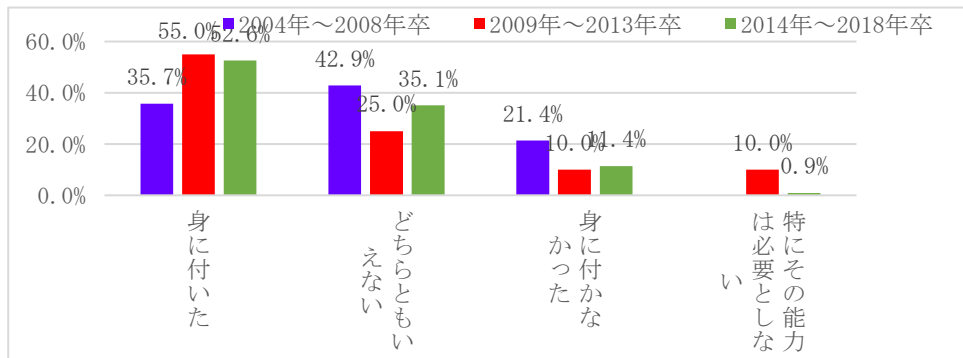
A 欄集計

協調力（異文化など多様性を受容、尊重でき、科学技術、社会経済のグローバル化に対応できる力）

155 件の回答



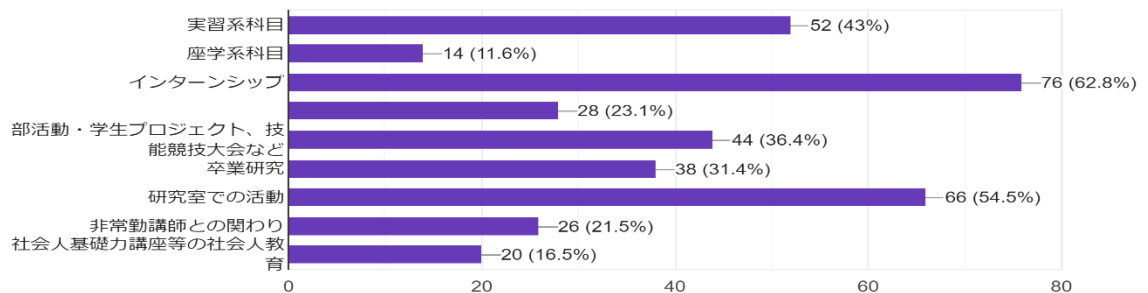
A 欄 (3 区分集計)



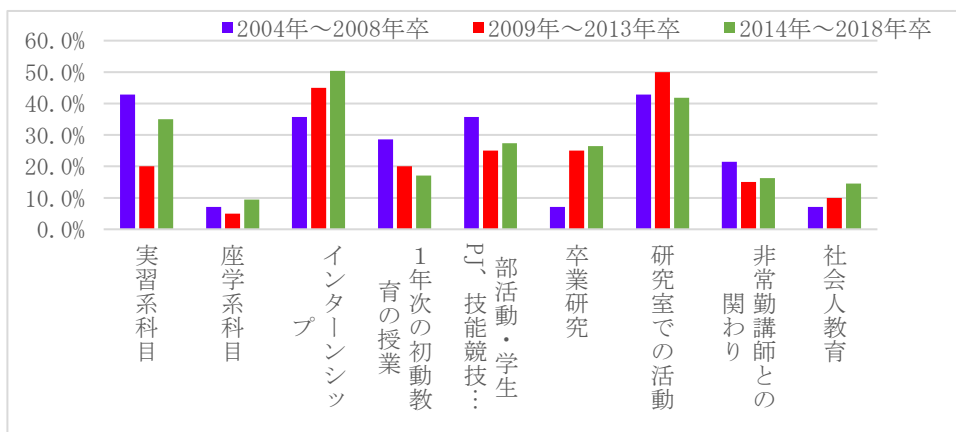
- 「身に付いた」が半数を超えたが、「どちらともいえない」もかなり高い。
- 3 区分別では、第 1 期が「どちらともいえない」の方が高くなっている。

B 欄集計

協調力（異文化など多様性を受容、尊重でき、科学技術、社会経済のグローバル化に対応できる力）
121 件の回答



B 欄 (3 区分集計)



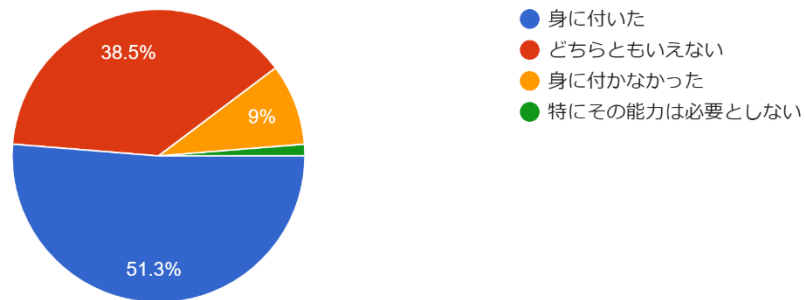
- 身に付けるために役立つ科目としては、「インターンシップ」が最も高く、次に「研究室活動」、3 位が「実習系科目」でやや下がっている。
- 3 区分別では、第 1 期が「実習系科目」と「研究室活動」が並んで最も高くなっている。第 2 期では 1 位が「研究室活動」、2 位が「インターンシップ」で他との差が大きい。第 3 期では回答数が多いこともあり、全体集計と同様である。

(7) コミュニケーション力 価値観の異なる相手とも双方向で真摯に学び合う対話力

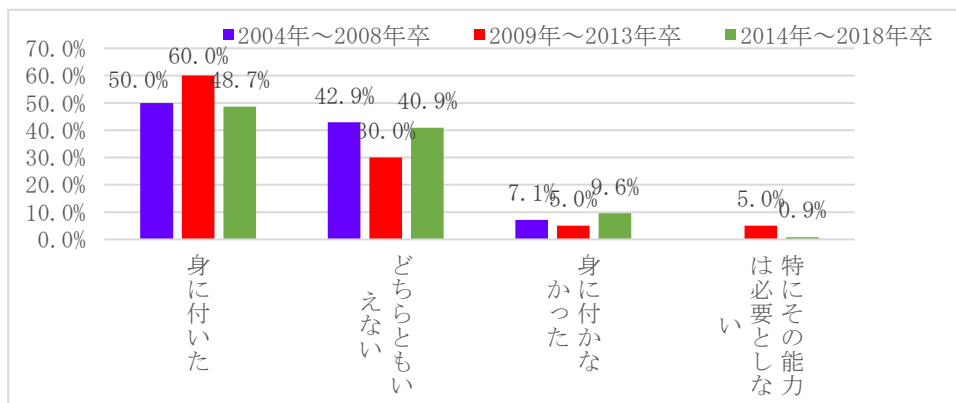
A 欄集計

コミュニケーション力（価値観の異なる相手とも双方向で真摯に学び合える力）

156 件の回答



A 欄（3 区分集計）

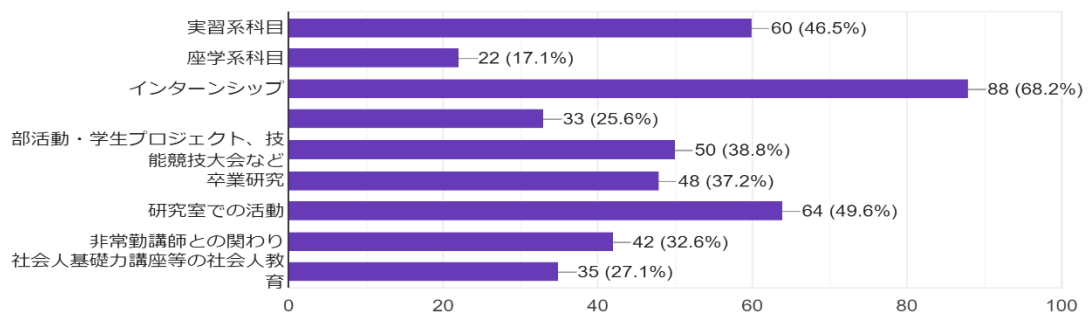


- 「身に付いた」が半数を超えたが、「どちらともいえない」もかなり高い。
- 3 区分別では、第 2 期が「身に付いた」の割合がやや高くなっている。

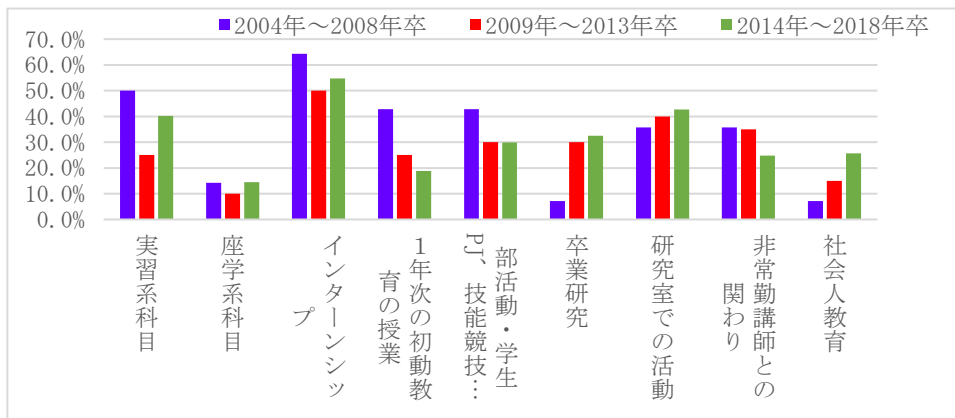
B 欄集計

コミュニケーション力（価値観の異なる相手とも双方向で真摯に学び合える力）

129 件の回答



B 欄 (3 区分集計)



- 身に付けるために役立つ科目としては、「インターンシップ」が断然高く、次に「研究室活動」と「実習系科目」が並んで研究室活動」でやや下がっている。
- 3 区分別では、第 1 期が「インターンシップ」の次が「実習系科目」、3 番目に「1 年次の初動教育」と「部活動等」が入っている。第 2 期では、「インターンシップ」「研究室活動」の次に「非常勤講師との関わり」が入っている。第 3 期では回答数が多いこともあり、全体集計と同様である。

その他、改善すべき点があれば、自由にご記入ください。

(2004～2008 年度)

インターンに、こだわり過ぎて、大学内での高度な研究の機会を奪われてしまう子もいる。

(2009～2013 年度)

1. 小さくてもいいから、学びたい事を決めてそれに向かって積極的に行動する。自分で解決して技術向上する人材は希少種と言ってもいいくらい少ないので、その辺の精神・心構えを養って欲しい。
2. 社会的に独立するためただ漠然と作業をするのではなく学生たちに、マネジメント等の観点から実習や講義に取り組むようになるよう促したほうが良いと思う。
3. 何が課題か、分析し、企画し、制作、発信するような、今後最先端機械や AI にできない企画推進力を担うための授業があるとよいと思います。

(2014～2018 年度)

1. 学びを受ける側のモチベーションを上げられれば、知識や技能は付いてくると思う。入学時のモチベーションを卒業まで保つのは難しいことだと思うが、学生達には頑張ってもらいたい。
2. もっと学生が資格に興味を持ち、資格取得しやすい環境にしてあげたほうが良い。資格について口頭での説明が無いため、重要性がわからず取得しない生徒が多いと感じた。
3. 選択科目が多すぎて本当に学びたい講義が学べずに定員オーバーで受けられなかったり、とても残念な思いもした。しかし夏季休暇中の特別講義はとても胸躍る内容が多かった為、あのような内容が普段から学べたら現場でも生きる知識が身に付くと感じた。そのような座学などを必修にすべきではなかったのかと思う。
4. ものづくり大学には、国際的に働けるものづくりな人を目指して単なる英語の講義ではなく、工業英語（とても重要）や第二外国語の選択、外国語を交えた技術講習会や講師との交流が出来ればと夢物語ではあるが将来的にはそうなってほしい。
5. 気づく力を育てる科目 (KY 等)、フレッシュマンゼミ等において 1 つの問題に対し解決する取り組みがあってもいいと考える。資格取得まで行える講義”
6. プロジェクト活動を学べる機会を増やすべき

整理すると、

- ① 大学の教育の姿勢、取組みに関する不足の指摘
- ② 設置している授業科目や受講チャンス、資格取得の可能性に対する指摘
- ③ 学生の能力や受講態度に関する不満
- ④ インターンシップのあり方に関する指摘
- ⑤ 実習授業のあり方に関する指摘

などが挙げられている。

第1期の段階では、大学がまだあまり知られていなかったことなどもあり、全体に対する不満が大きく、第2期では学生の能力やそれに対する大学の姿勢への指摘が出てきている。

第3期は自由記述数も多いため、様々な改善点が挙げられている。大学名や大学全体に対する不満はあまりなく、学生の能力、学科間の相違、授業間の差異、課外活動の機会など、かなり細部に亘る指摘が多く、今後の参考となることも多い。

問4. 問3の能力のうち、実社会における経験に照らして必要／重要とお考えになるものについて、重要度が高い順に5つまでその番号をご記入ください。また、これらの他に重要と思われるものがありましたら、ご記入ください。

重要度1位
154件の回答



重要度2位
154件の回答



重要度 3 位

151 件の回答



重要度 4 位

148 件の回答

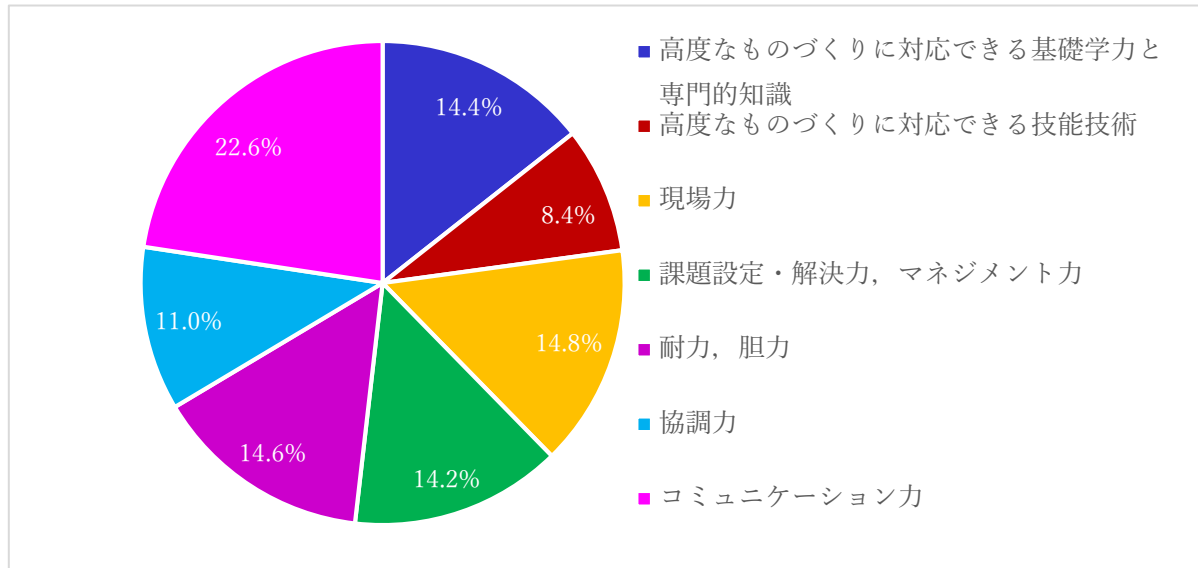


重要度 5 位

147 件の回答



- 重要度 1 位に挙げられた項目はコミュニケーション力であり、4 割を超えている。続いて「基礎学力等」、更に「現場力」「耐力・胆力」が並んだ。
- 第 2 位から第 5 位までは、各項目が分散した。
- そのため、上位 3 位までに入れている項目を集計してみることにした(下図、グラフのスタートは円の上部となっている)。各項目ともあまり差がないが、「コミュニケーション力」が 1 位、その後、「基礎学力等」「現場力」「耐力・胆力」「課題設定・解決力等」がほぼ同等で並び、1 位の重要度評価とほぼ同じであった。



その他，重要な能力

(2004～2008 年度)

1. プレゼンテーションを上手に行うための能力
2. うまくいかなかった場合の気転の利かせ方。

(2009～2013 年度)

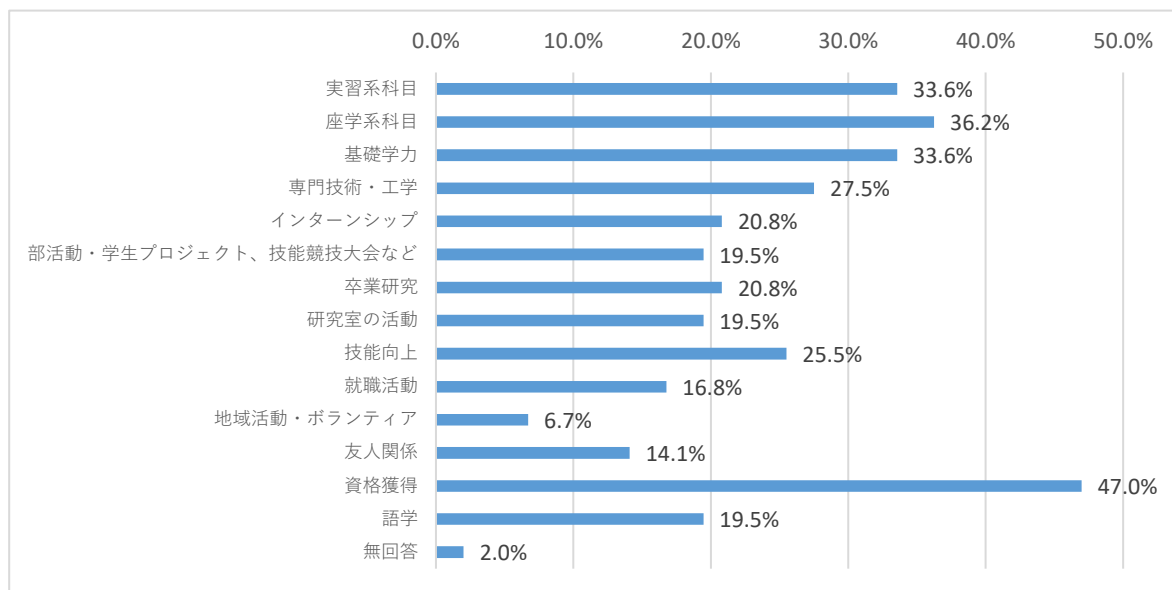
1. 好奇心・興味・「なぜ?」を追求する心
2. 人に注意できる力
3. 人間力 自ら主体的学び、考え、行動し、体現していく力

(2014～2018 年度)

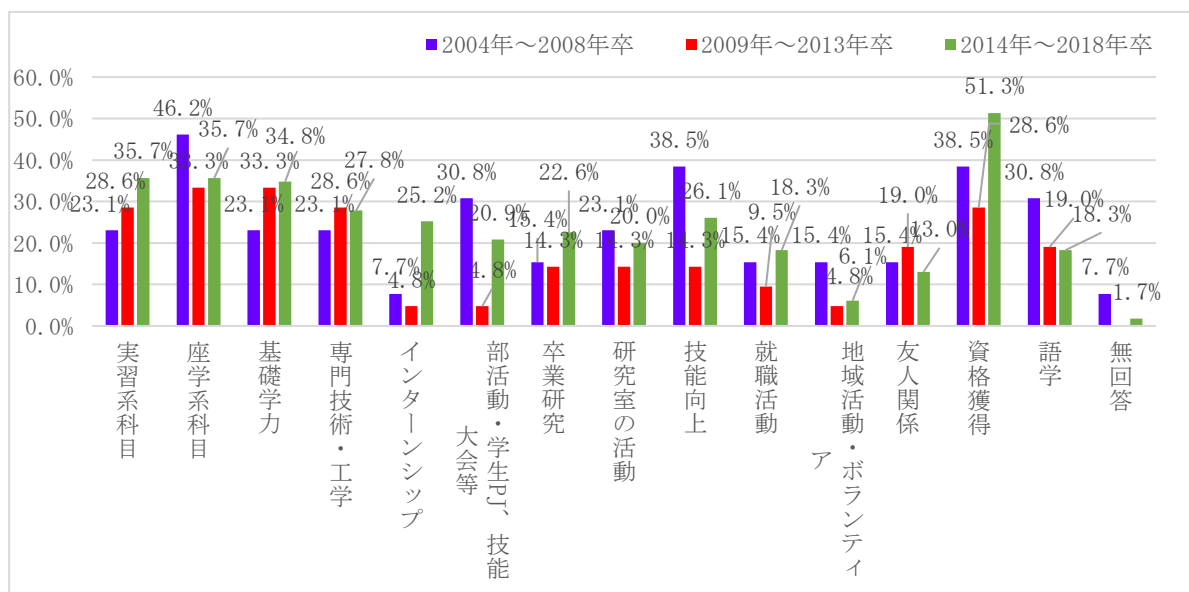
1. 柔軟かつ奇抜すぎない発想、危険予知
2. 学生から社会人になるにつれての自覚
3. 人としての魅力
4. 相手に分かりやすく、要点を伝える説明力
5. やりたいことを見出すこと
6. すぐに辞めない気持ち
7. 学校と現場での隔たりを無くするため、もっと実際に現場で働く人を非常勤講師として呼んだり、プチインターンシップ(2 ヶ月ではなく 1 ヶ月や半月などもう少し短過ぎず長過ぎない期間)を設けて現場力を養ったり。コミュニケーションがまず出来ないと仕事は成り立たないので会話が出来た上で実技で動ける能力を身に付けてほしい。
8. 法律や会社の仕様変更等での対応力
9. グローバル力
10. 要領力
11. 最低限の常識
12. 思いやり、気配り、報告・連絡・相談をした後の信頼、段取り力、察する力、物事についての歴史・物語の知識、自信
13. 社会の情報を取り入れること。
14. 向き不向きを判断する能力と、自分の将来についてしっかり考えること、何がやりたいか、何が好きか、やりたいことをできる環境にいるのか、何が必要か

○ プレゼンテーションの力や説明能力、主体的に学ぶ力、グローバル力、社会情勢や法律などの力などが挙げられている。

問5. 学生時代に積極的に取り組むべきだったと思うことはありますか？（複数回答可）
（全体集計）



（3 区分集計）



- 最も高かったのは「資格獲得」、次に「座学系科目」「実習系科目」「基礎科目」がほぼ同等で並んでいる。
- 3 区分別では、第 1 期では「座学系科目」が高く、「資格獲得」と「技能向上」が続く。第 2 期では「座学系科目」と「基礎学力」が 1 位で、続いて「資格獲得」「実習系科目」「専門技術・工学」が並んでいる。第 3 期では、回答数が多いことから、全体の集計と同様である。

その他、本学の教育で、不足していると感じた／感じている能力があれば、教えてください

(2004～2008 年度)

1. 設計やデザインなど、有名な建築士やデザイナーの知識がどの学生にも備わると社会でも恥ずかしくない
2. 土木に関する実習(測量丁張、アスファルト舗装)
3. 数学、物理の基礎学力

(2009～2013 年度)

1. 基礎が重要である認知
2. 資格取得に直結した授業
3. 国外で働くコミュニケーション能力
4. 社会人としての教養
5. 語学
6. 基礎科目
7. 玉掛等の特別教育(免許)の取得
8. 学生に考える力を身につける講義。目的意識を持って、主体的に学べる時間を増やす必要がある。と感じます。

(2014～2018 年度)

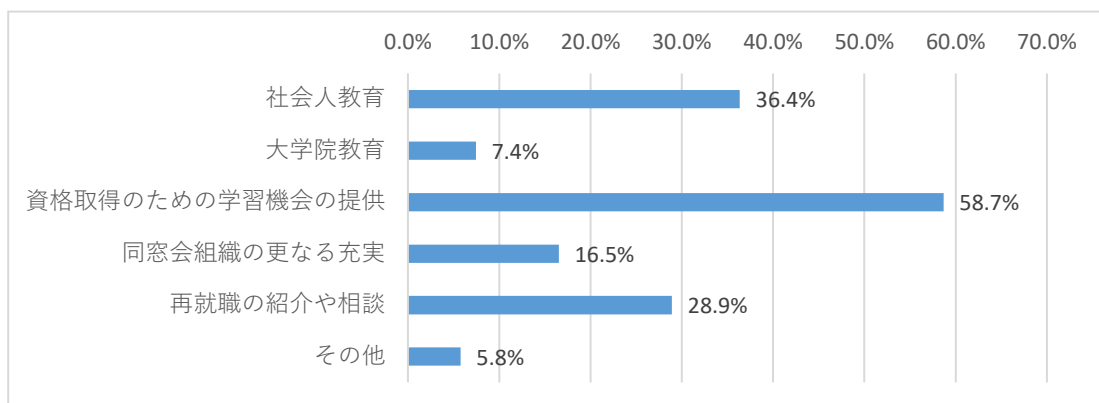
1. やる気
2. 資格講座、学園祭以外の大学発イベントでの実行力
3. 語学力が顕著に不足していると感じました。英語、中国語は必要に感じます。
4. 力学系、数学物理は社会人になって常に必要になる知識なので力を入れたほうが良い(自分の場合実習科目重視だったため就職してから知識のなさが明るみになり一式勉強しなおしましたので学生中にちゃんとやっとならば良かったと後悔しました
5. 一級建築士取得の為の講義
6. 組込み技術・web 技術 ソフトハード共に不足
7. 他大学との関わりの場
8. 結局スピードには勝てないことを察していれば大丈夫です
9. 必修座学を増やすべき。材料力学など
10. メンタルを壊す学生が多いのでそのサポート
11. 現場で働くためのカリキュラム構成はなされているが、ビル管理や不動産業界など建設業界の中でも施工管理だけではないという、いろんな職種があることを知る機会があるといい。
12. 製造業における材料、加工技術、加工方法など
13. 英語(特に建設英語)
14. 実際の現場でどのような作業が行われるのか知ること。機械は何を使うのか、運搬はどうするのか、組み立てはどこでするのか
15. 研究力
16. コミュニケーション、交流
17. グローバル力
18. コミュニケーション能力。特に変わった上司、関わり辛い上司との付き合い方や、本人のコミュニケーションにおける課題が見つけられる様な取り組みがもっとあると良いと思う。
19. 社会で通用するプレゼン(発表)力

20. 協調性
21. 語学
22. 実習等は充実しているが、初めて経験する学生も多く受け身な学習態度になりがちになってしまう。そのため、自分で考えたり意見したりする力(課題設定力、マネジメント力)を養うには弱いと思う。
23. 実践的なものづくり実習
24. 研究活動以外での発信力
25. コミュ力、主体性
26. 基礎学力
27. 製品意識
28. 資格獲得に向けての広報活動がもう少しほしいと感じた

- 多くの項目が、第4問の重要だと思う力と同じものが挙げられている。
- 中でも、語学力、英語力はかなりの頻度で挙げられている。

問6. 卒業（修了）生のために、どのようなことを大学に希望しますか？当てはまるものを選択してください。（3つまで選択可）

回答件数 121 件



【その他の回答】

- ・もっといろいろな人が居ることを知ってほしい。社会ではそうそう出会えないような人がたくさんいると思います
- ・キャリアアップに繋がる可能性がある転職の仲介、人脈を広げたい人向けの人材紹介
- ・卒業生同士による事業拡大チャンスの場合
- ・学校の設備・機材が利用できる制度（卒業してから大学の設備の充実さに気づく卒業生は多いと思う）
- ・同じデザイン業界で働く方との情報交換
- ・全て

- 最も多かったのは、「資格取得のための学習機会の提供」で半数を超えた。
- 第2位は「社会人教育」で4割、第3位は「再就職の紹介や相談」で3割。

問7. 問6で「①社会人教育」「②大学院教育」を選択された方で、具体的なご意見があれば、自由にご記入ください。—社会人教育等の項目名のみの記述は除く。

(2004～2008 年度)

資格取得のための学習機会の提供、学校の設備・機材が利用できる制度（卒業してから大学の設備の充実さに気づく卒業生は多いと思う）

同窓会組織の更なる充実、同じデザイン業界で働く方との情報交換

(2014～2018 年度)

社会ではそうそう出会えないような人がたくさんいると思います

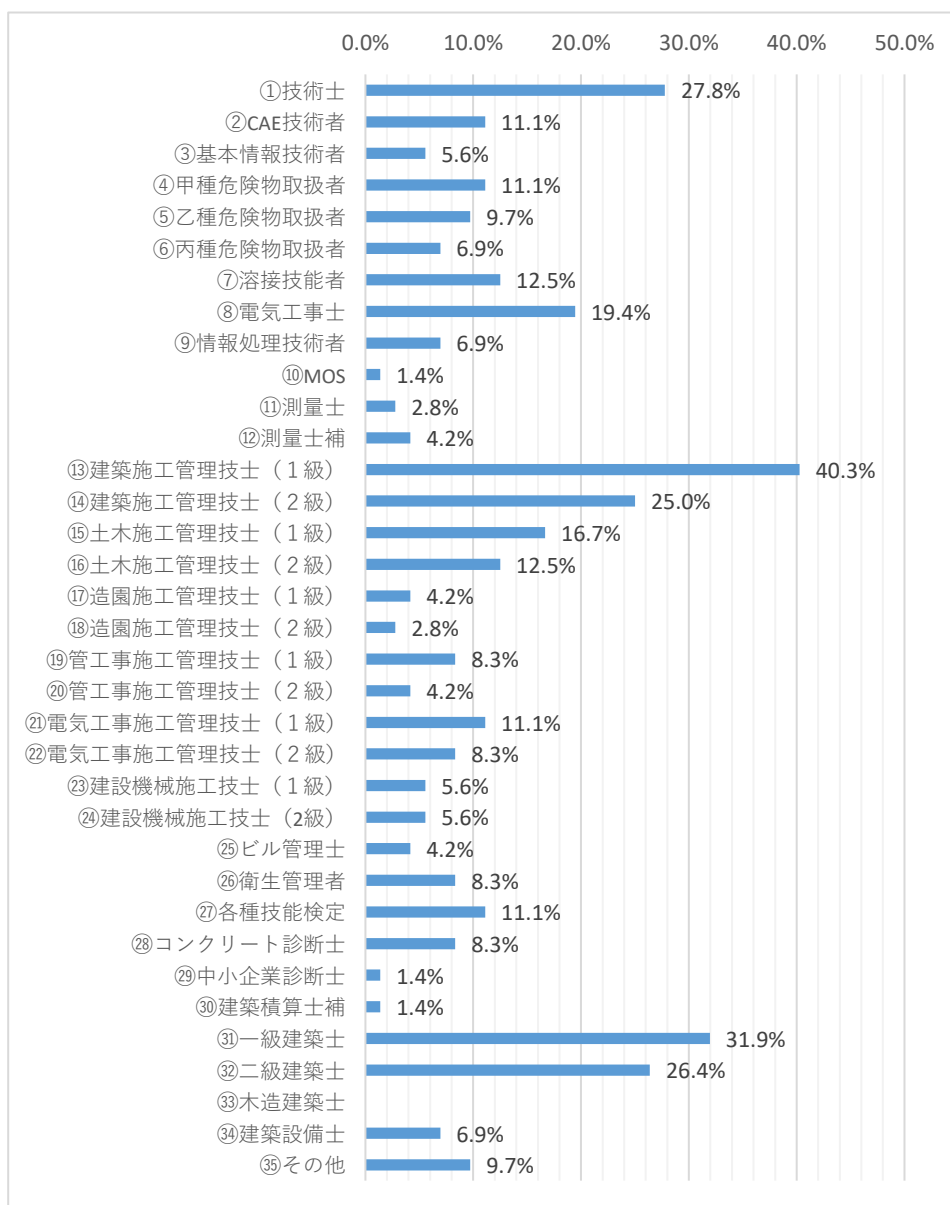
卒業生同士による事業拡大チャンスの場合

資格取得のための学習機会の提供、再就職の紹介や相談、キャリアアップに繋がる可能性がある転職の仲介、人脈を広げたい人向けの人材紹介

- 卒業生同士を含めた人と人とのつながり、それによるキャリアアップや事業拡大等の意見が出された。

問8. 問6で「②資格取得のための学習機会の提供」を選択された方で、具体的な学習機会として要望する資格はありますか？

回答件数 72 件



【その他の回答】

- ・陸上無線技術士
- ・電気取扱者 ・玉掛け、小型移動式クレーン、準中型免許又は中型免許
- ・フォークリフト ・クレーン運転、玉掛
- ・NC の資格 ・3D プリンターやレーザー系の資格
- ・公認会計士 ・機械器具設置監理技術者

- 建築施工管理技士（1 級）、一級建築士、技術士などの上位資格が高くなっている。
- 続いて、二級建築士、建築施工管理技士（2 級）など、問 2 で取得済みとして挙げられている資格があり、なかなかとるための時間や学習方法等に課題があるのではないかと思われる。

その他、具体的な内容がある場合は、自由にご記入ください。

（2004～2008 年度）

1. 重機等の特別講習
2. フォークリフト、高所作業車、玉掛け等、学生が大学で受けられる資格が卒業生も受けられると良い。

（2014～2018 年度）

1. 特殊無線技士全般など
2. 社会人向けの技能検定講座
3. 先程も記述した通り、現場にて使用する機械を動かすのに必要な資格は最低限とっておくべき。
4. 再就職の紹介や相談について、平日以外（少なくとも土曜日の午前午後どちらかだけでも）にキャリアセンターを解放して欲しい
5. 製造学科とはいえど、いざつくるとなると柔軟なデザインや発想は難しい。工業デザイナーを目指せる講義があったり、建設学科の内容も含めて学べる講義など、硬い意味ではなく広義な技術者として育つ学校になってほしい。
6. 資格を取れる取れないより、必要性をもっと知らせるのが良いと思います。
7. お金の稼ぎ方、使い方、増やし方を教えて欲しかった

- キャリアセンターの卒業生への解放などの他、大学の講義内容等に関する意見も見られた。

問9. ものづくり大学の評価を高めていくための具体的な取組や方策提案などがありましたら、自由にご記入ください。

（2004～2008 年度）

1. 多くの卒業生の活動や仕事の様子をもっと広めることができると、在校生にとっても卒業後のイメージに繋がりいい影響を与えることができると思う。卒業生の一覧 (<https://hirosato500.com/member/>) みたいなのがサイトに蓄積されていくとわかりやすい。
2. 卒業生の活躍を大学と当人の両方で発信して、好循環を作ることによって高校生、在学生、卒業生にとって憧れと誇りが持てる大学となると考える。
3. 即戦力を育ててほしい。新卒の即戦力ではなく、中途採用レベルの即戦力が必要になる
4. いま、取り組んでいます、現役生・OBOG 合同の建築設計コンペ

5. 動画コンテンツ等手軽に見られる広報を手軽に見られる場所（HPの目立つ場所や SNS 等）に置く。現状よりレベルの高い体験講座、体験教室の開催。など。

(2009～2013 年度)

1. 企業との連携によるインターンシップや卒業研究の強化
2. 機械分野においても現場監理者をする事が多く、特定建設業を行うために必要な資格が必要だと感じる。資格取得の近道ができるように、製造分野においても力を入れていくべきだ。
3. 先述しました通り、アフターフォローも売っていけば就職後の不安解消になり評価は高まるかと思います。
4. 専門コースに分かれた後の実技と座学にもっと共通する内容を行って欲しいと思います。
5. 災害現場に赴き、手伝う
6. ものづくり大学の youtube チャンネルを開設する
7. 施工管理の業務でも、作業によって直轄の仕事もあるので、実習・インターン・安全管理の面でレベルを底上げしても良いかと思います。Excel やパワポなどデクスワークで使うものは一定の水準を設けて
8. 大学評価を高める取組は大学が大学方針に則り、考えるべきだと思います。私は一卒業生として、常にものづくり大学卒業生である事に誇りと自覚を持ち、社会に貢献しています。私の立場においては、会社に貢献し、日本のものづくりに少しでも携わり続ける事で、大学に恩返し出来ると思っております。微力ながら、卒業生として貢献していきますので、宜しく願い致します。

(2014～2018 年度)

1. 大学入学時に競技大会などで成績がある人は技能特待生で授業料免除があると思いますが、入学してからは目立った活躍をしない人が授業料免除になっており、普通科から入学など成績ない人が入学してから活躍しても、授業料免除がないのはおかしいと思います。普通科卒の人が活躍したら余計に大学のアピールになると思います。授業料免除になれば、ますます学生のやる気が増すと思います。
2. テレビや広告で宣伝をする
3. 大学発のロボコンや大学発ベンチャー（カンパニープロジェクトに所属していたことから）
4. 研究室での活動を各研究室でしっかり行うべきだと思う。梗概や卒業論文を毎年見ていたが、見るに堪えないレベルのものが多すぎると思います。
5. 街での掃除活動
6. ものづくり大学は知名度が建設業界以外で低すぎる。もっと外に向けてアピールするべき。専門的な事においては他大学の追従を許さないレベルの事をしているのだから有名になってもおかしくない！
7. 思い出はものづくり大学で作り残そう
8. 入学する生徒のレベルを揃えるべき
9. 受験生から好かれるには、大学を知ってもらえるような何か情報発信源あればいいと思います。企業から好かれるには、卒業生が頑張るしかないと思います。
10. 工業系の職種の場合、大変だと思うが基礎学力(高度なレベルでなく)はしっかり理解しておかないと後が大変
11. 評価よりも存在自体のアピールが必要だと思います。知られていないことが多いです。
12. 活躍している卒業生の紹介による卒業後へのイメージアップ。入学試験の難易度を上げてより高度な授業を行えるようにする。
13. 特待生、奨学金制度のアピール。施設設備、資格取得のアピール。

14. 地域活動量が少なすぎるのもそうだが全国に向けた情報発信の強化、魅力を感じる講義やわかりやすい講義(CAD や数学は三井先生等とてもわかりやく教えてくださるのでとても解り易いが、製図担当は最悪で難解というか課題を投げ出すだけのような内容だったのであまりいい印象はない)
15. ものづくり大学は完璧です。
16. 大雑把に言ってもっと身の程を知れ、と言うくらい学生本人の自覚を持たせる事が必要だと思います。実際私もそうでした。厳しくやれと言うより、自分からこのままじゃまずいと危機感を持たせた方が良くと思います。
17. 分野別の就職後必要となる資格のリストの配布。学生プロジェクト の活性化(自ら学び発表する。講義としての位置付け)
18. 広く浅く、多分野で多目的性に優れる人
19. コース選択後の専門分野の講義、卒業研究で高い専門性を身に付ける
20. 外へアピールできるものが多いのに学内で留めてしまうケースが多い
21. 実習は良いが、職業訓練校のような授業はやめて、もう少し工学系の大学として理論も深めるべきと思う。あとは、大学名の「ものづくり」というのは「ものづくり」を理解している方には聞こえが良いが、ターゲットとなる高校生からは明らかに受けは悪い。第 1 印象ですでに他大学に負けていると思う。埼玉工学院大学などと改名すべき。また、「ものづくり学修士」というのは「工学修士」にはできないのでしょうか？
22. 実習の連続性があるといいと思う。周りの学生がよく、日本工業大学は旋盤『を』授業で作るらしいということに憧れていた。それぞれの実習が噛み合うような内容であれば、そういう事もできるのではと思う。
23. 建設学科と製造学科にもっと交流の機会を設けて何かディスカッションをさせる。

- 自由記述覧では様々な意見が出されており、前出の意見との重複も多い。
- ここだけに出てきているものとしては、広報対策に関する意見として、もっと様々な広報活動をするべきだという意見が多い。
- 奨学金や特待生制度についての意見もあり、普通科高校からの学生へのメリットが少ないという意見もあった。

以上